



pci-

USERS MANUAL

CATV/xDSL Internet Sharing Box

BRL-07P

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

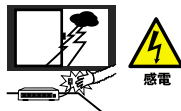
分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



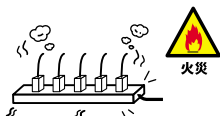
通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



液体・異物は入れないで！

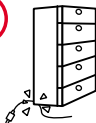
製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。
万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

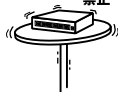
- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する
(かじった部分からショートし発火する危険があります)



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

目次

第1章 はじめに

1. 概要 5
2. 特長 6
3. 梱包内容の確認 7
4. 各部の名称 7
5. 対応機器 11
6. ディップスイッチについて 12
7. 設定の初期化 13
8. リセットスイッチ 14

第2章 ハードウェアの接続

1. 設置場所について 15
2. 設置 16
3. WAN側ポートにxDSL/ケーブルモデムを接続する 16
4. LAN側ポートの接続 17
5. 電源の接続 19
6. 接続の確認 20

第3章 簡単設定

1. コンピュータの設定 21
2. WAN側ポートの接続の設定 26
3. 接続の確認 42

第4章 プリントサーバ機能

1. プリントサーバ機能について 43
2. Windows 98/98 Second Editionへのインストール 43
3. Windows Meへのインストール 52
4. Windows 2000へのインストール 67

第5章 詳細設定

1. 設定画面を開く 80
2. 管理者パスワードの設定 83
3. インターネット (WAN側) からの設定の許可 84

4. LAN側ポートのIPアドレスの設定	86
5. WANポートの設定	87
6. DHCPサーバ機能の設定	92
7. 特定アプリケーション	95
8. ローカルサーバ機能	99
9. ユーザ設定ローカルサーバ	102
10. バーチャルコンピュータ機能 (DMZ)	105
11. フィルタ設定	107
12. ルーティングテーブル	113
13. ステータス表示	115
14. NAT機能の設定	121
15. その他の設定	122
付録A トラブルシューティング	123
付録B デフォルト設定	126
付録C PPPoE接続について	127
付録D 製品仕様	130

《マニュアル内の表記について》

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

User's Manual Version 1.0

1.はじめに

1. 概要

本製品は、xDSLおよびCATV(ケーブルTV)接続を使用したインターネット接続に対応したインターネットシェアリングボックスです。NAT/IPマスカレード(NAPT)機能により、1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有し、同時にインターネットにアクセスすることが可能です。本製品はプリンタポートを装備しており、Windowsコンピュータからプリンタを共有することも可能です。本製品はWEBブラウザにより、簡単にセットアップすることが可能です。

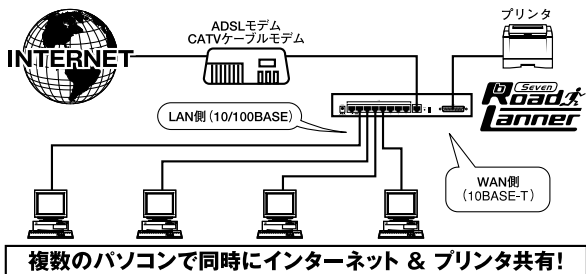


図1-1 bRoad Lanner接続図

注意 プロバイダによっては本製品のようなルータの使用や複数のコンピュータからのアクセスを制限している場合もあります。プロバイダとのご契約内容についてご確認ください。

2. 特長

xDSL、CATV接続等のWAN回線に対応

NAT/IPマスカレード機能により1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有可能

WAN側に10BASE-T RJ-45 STPポートを1ポート装備

LAN側に100BASE-TX/10BASE-T自動認識に対応した7ポートスイッチングハブを装備

プリンタポートを装備、Windowsコンピュータでプリンタの共有が可能

WAN側ポートはDHCPクライアントに対応

LAN側ポートはDHCPサーバに対応（最大253クライアントまで割り当て可能）

ローカルサーバ機能およびバーチャルコンピュータ機能により、ローカルネットワーク上のコンピュータにインターネットからアクセス可能

フィルタ機能を装備、IPアドレス、ポート番号によるアクセス制限が可能

WAN側の接続方法として通常の接続のほかにPPPoE接続に対応
WEBブラウザから設定可能

3. 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

BRL-07P本体

ACアダプタ

UTPストレートケーブル（1m）1本

ショートケーブル1本

ドライバCD-ROM

CD-ROMマニュアル

保証書

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4. 各部の名称

本体前面

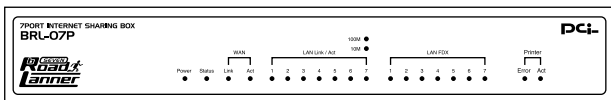


図1-2 本体前面

「Power LED」

本製品に電源が供給されている場合に点灯します。

「Status LED」

本製品の起動時および、何らかの異常が発生した場合に点灯します。正常に動作している場合は消灯します。

「WAN Link LED」

WAN側ポートのリンクが確立しているときに点灯します。

「WAN Act LED」

WAN側ポートでデータの送受信中は点滅します。

「LAN Link/Act LED」

ポートのリンクが10BASE-Tで確立しているときはオレンジ色に点灯します。ポートのリンクが100BASE-TXで確立しているときは緑色に点灯します。また、ポートでデータの送受信中は点滅します。

「LAN FDX LED」

ポートのリンクがFull-Duplex（全二重）で確立しているときに点灯します。

「Printer Error LED」

プリンタエラーが発生したときに点灯します。

「Printer Act LED」

プリンタとの接続が確立しているときに点灯します。プリンタにデータを送信中は点滅します。

本体背面

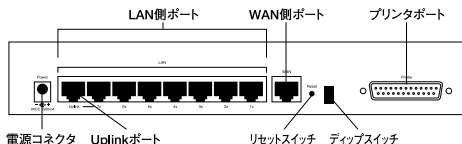


図1-3 本体背面

「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

「LAN側ポート」

本製品にコンピュータを接続するためのRJ-45 STPポートです。

「Uplinkポート」

本製品にハブを接続するためのUplinkポートです。ポート7と共有です。ポート7と同時に使用することはできません。

「WAN側ポート」

本製品をxDSLまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「リセットスイッチ」

本製品を再起動する場合および、本製品の設定の初期化時に使用します。設定の初期化の方法については、第1章「7.設定の初期化」を参照してください。

「ディップスイッチ」

本製品の設定の初期化およびDHCPを無効にしたい場合に使用します。

「プリンタポート」

プリンタを接続するためのD-SUB25ピンセントロニクスプリンタポートです。

本体裏面

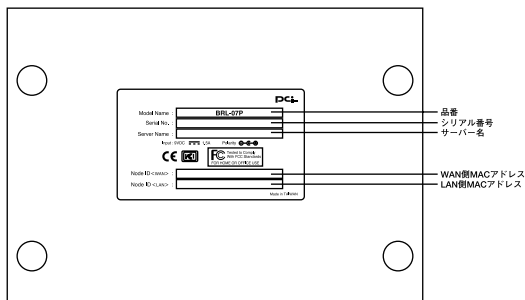


図1-4 本体裏面

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

「サーバ名」

本製品のデバイス名です。デフォルトのホスト名になります。

「LAN側MACアドレス」

本製品のLAN側ポートのMACアドレス（物理アドレス）です。

「WAN側MACアドレス」

本製品のWAN側ポートのMACアドレス（物理アドレス）です。プロバイダによってはxDSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要な場合があります。その場合はこのWAN側ポートのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

5. 対応機器

コンピュータ機器

本製品は、以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

- ・Windows 95/98/Me、Windows NT、Windows 2000を搭載し、Ethernet（RJ-45）ポートを装備したコンピュータ
- ・TCP/IPが利用可能なOS（Mac OS、各種UNIX等）を搭載し、Ethernet（RJ-45）ポートを装備したコンピュータ

ネットワーク機器

本製品では、以下のネットワーク機器が必要となります。

- ・UTPまたはSTPツイストペアケーブル
- ・10BASE-T/100BASE-TXリピータハブまたはスイッチングハブ

xDSL/ケーブルモデム

本製品は、以下のいずれかのxDSL/ケーブルモデムに対応しています。

- ・RJ-45（LAN）ポートを装備した外付xDSLモデム
- ・RJ-45（LAN）ポートを装備した外付ケーブルモデム

6. ディップスイッチについて

本製品背面にはディップスイッチが装備されています。このディップスイッチにより、本製品のLAN側IPアドレスとパスワードの初期化と、DHCPサーバ機能を無効にすることが可能です。

スイッチの設定状態と用途については次の表を参照してください。

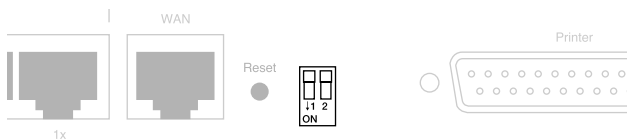


図1-5 ディップスイッチ

スイッチ設定	用途
スイッチ1 ON スイッチ2 ON	通常の使用
スイッチ1 OFF スイッチ2 ON	LAN側のDHCPサーバ機能を無効にします。
スイッチ1 ON スイッチ2 OFF	LAN側IPアドレスとパスワードを出荷時の状態に戻します。詳細な手順については次節で説明します。
スイッチ1 OFF スイッチ2 OFF	通常の使用

表1-1 ディップスイッチの設定

7 設定の初期化

IPアドレスやパスワードを忘れてしまった場合や、間違った設定をしてしまい設定画面にアクセスできなくなった場合等に設定の初期化が必要になることがあります。

本製品では、設定の初期化の方法として「LAN側ポートのIPアドレスとパスワードのみの初期化」と、「すべての設定の初期化」の2通りが可能です。

LAN側IPアドレスとパスワードのみの初期化

LAN側IPアドレスとパスワードのみの初期化には本製品背面のディップスイッチを使用します。以下の手順で初期化を行ってください。

- 1.本製品の電源を切ってください。
- 2.ディップスイッチを「スイッチ1=ON」、「スイッチ2=OFF」に設定してください。
- 3.本製品の電源を入れてください。
- 4.スイッチ1を以下の順番で切り替えてください。この作業は15秒以内に行ってください。

スイッチ1 : OFF ON OFF

- 5.LAN側IPアドレスとパスワードが出荷時の状態に戻ります。

すべての設定の初期化

注意 すべての設定の初期化を行うと、LAN側/WAN側ポートの設定やフィルタ設定等すべての設定が初期化されます。初期化を実行する前に、本当に初期化を行っても問題がないかを確認してください。

本製品のすべての設定の初期化は、以下の手順で行ってください。

1. 本製品の電源を切ってください。
2. 本製品背面のリセットスイッチを押したまま、電源を入れてください。
3. Status LEDが2回点滅するまで、リセットスイッチを押し続けてください。
4. リセットスイッチを離してください。本製品のすべての設定が初期化されます。

8 リセットスイッチ

本製品背面にはリセットスイッチが装備されています。動作中に何らかの理由で本製品のリセットを行いたい場合は、本製品背面のリセットスイッチを押してください。

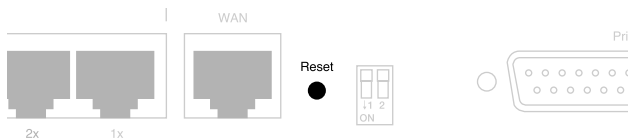


図1-6 リセットスイッチ

2. ハードウェアの接続

本章では、本製品の設置および、xDSL/ケーブルモデム、ハブとの接続手順について説明します。

1. 設置場所について

本製品を設置する際には必ず以下の点をお守りくださいますようお願いいたします。

- ・ 湿気の多い場所に設置しないでください。
- ・ チリやほこりの多い場所には設置しないでください。
- ・ 直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しないでください。
- ・ 内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空けてください。

注意 本体側面や背面の通風口にほこりなどがたまると内部に熱がこもる原因となります。定期的に点検を行い、ほこりがたまっているようでしたら掃除機等でほこりを取り除くようにしてください。

2. 設置

本製品は、デスクトップ上などの平らな場所に設置して使用して下さい。

3. WAN側ポートにxDSL/ケーブルモデムを接続する

- 1.xDSL/ケーブルモデムの電源を切ってください。
- 2.ストレートタイプのUTPまたはSTPツイストペアケーブルで、本製品背面のWAN側ポートとxDSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートを接続してください。

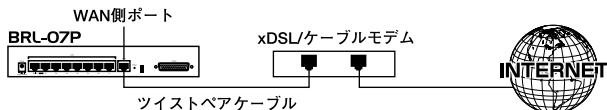


図2-1 xDSL/ケーブルモデムとの接続

注意 xDSL/ケーブルモデムの種類によっては、本製品と接続する際にストレートケーブルでなく、クロスケーブルを必要とするものもあります。詳細については、お手持ちのxDSL/ケーブルモデムのマニュアルを参照してください。

4. LAN側ポートの接続

LAN側ポートの接続には、コンピュータを直接接続する方法と、ハブを使用してコンピュータを接続する方法があります。LAN側に7台以上のコンピュータを接続したい場合はハブを使用してコンピュータを接続してください。

コンピュータを直接接続する場合

1. ストレートタイプのUTPまたはSTPツイストペアケーブルの一端を本製品のいずれかのLAN側ポートに接続してください。
2. ツイストペアケーブルのもう一端をコンピュータのRJ-45ポートに接続してください。

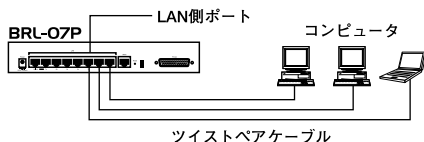


図2-2 コンピュータを接続

注意 LANポート7とUplinkポートを同時に使用することはできません。

- ハブを使用して7台以上のコンピュータを接続する場合
1. ストレートタイプのUTPまたはSTPツイストペアケーブルの一端を本製品のLAN側Uplinkポートに接続してください。
 2. ツイストペアケーブルのもう一端をハブ(10BASE-T/100BASE-TXリピータハブやスイッチングハブ等)のRJ-45ポートに接続してください。
 3. 本製品を経由して、インターネットにアクセスするコンピュータとハブをツイストペアケーブルで接続してください。

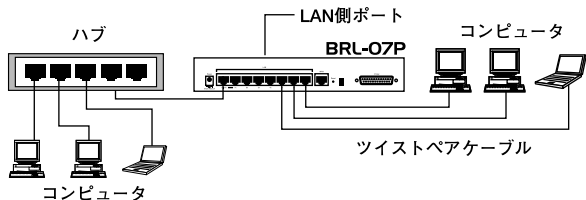


図2-3 ハブを使用したコンピュータを接続

注意 UplinkポートとLANポート7を同時に使用することはできません。

5. 電源の接続

- 1.xDSL/ケーブルモデムおよびハブの電源を入れてください。
- 2.付属のACアダプタを本製品の電源コネクタに接続してください。
- 3.ACアダプタをAC100Vコンセントに接続してください。スペースの問題でコンセントに直接、ACアダプタを接続できない場合は付属のショートケーブルをご使用ください。
- 4.コンピュータの電源を入れてください。



図2-4 電源の接続

注意 ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

6. 接続の確認

これまでの接続を行い本製品の電源を入れると本製品のPower、WAN Link、LAN Link/Actの各LEDが点灯します。

これらのLEDが点灯しない場合は以下の点についてご確認ください。

Power LED

- ・本製品付属のACアダプタを使用していますか？
- ・ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？
- ・ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

WAN LED

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWAN側ポートおよびxDSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
- ・xDSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？
- ・ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか？

LAN LED

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLAN側ポートおよびハブまたはコンピュータのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
- ・ハブまたはコンピュータの電源は入っていますか？
- ・ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか？

3. 簡単設定

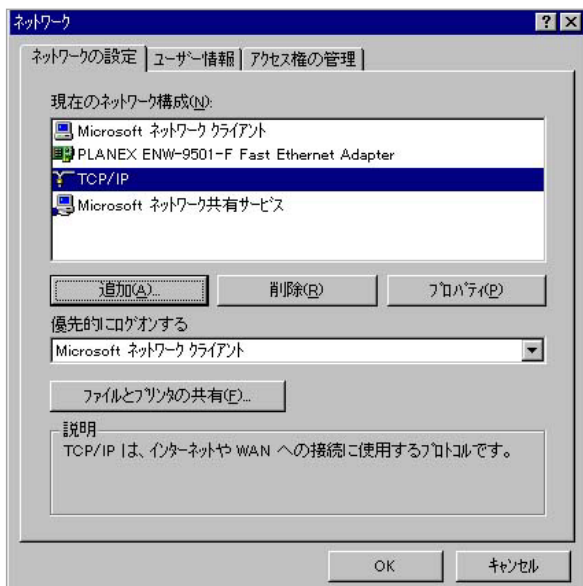
本章では本製品の簡単設定手順について説明します。簡単設定では、必要最小限の設定のみで、本製品を経由したインターネットへのアクセスを行えるようにします。

簡単設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」を参照して本製品とxDSL/ケーブルモデム、コンピュータの接続を済ませておいてください。本製品のより詳細な設定を行う場合は、第5章「詳細設定」を参照してください。

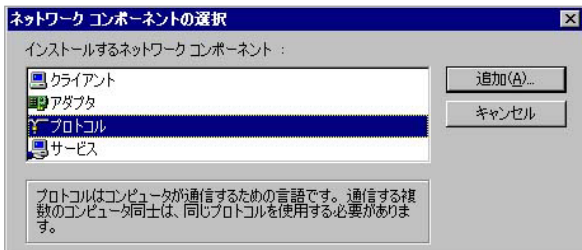
1. コンピュータの設定

Windows95/98/Me

1. コンピュータにネットワークアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。ネットワークアダプタがインストールされていない場合は、ネットワークアダプタのインストールを行ってください。
2. コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」「ネットワーク」と選択してください。「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。



3. インストールされていない場合は「追加」ボタンをクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



4. ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。

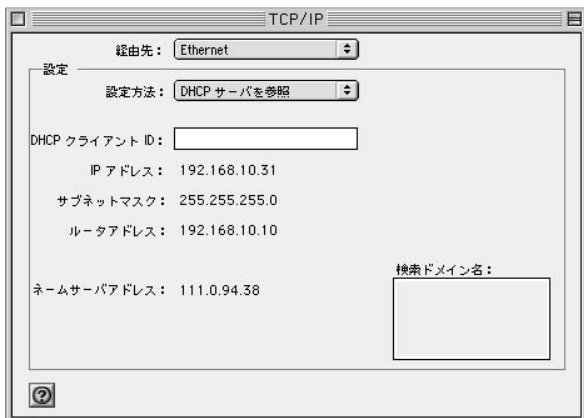


5. 「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので、「IPアドレス」タブをクリックしてください。画面内の「IPアドレスを自動的に取得」オプションを選択し、コンピュータを再起動してください。



Macintosh

- 1.アップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択してください。
- 2.TCP/IPの設定ウィンドウの「設定方法」を「DHCPサーバを参照」に設定してください。



- 3.TCP/IPの設定ウィンドウを閉じて、Macintoshを再起動してください。

2. WAN側ポートの接続の設定

コンピュータの準備ができれば、本製品のWAN側ポートの接続の設定を行います。

WAN側ポートの接続の方法には、「通常の接続」と「PPPoE接続」の2種類があります。プロバイダがPPPoE接続に対応している場合は36ページの「PPPoE接続の設定」を、それ以外の場合は27ページの「通常の接続の設定」を参照してWAN側ポートの設定を行ってください。

注意 WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。NetscapeまたはMicrosoft Internet Explorerのバージョン4.0以降のご使用を推奨します。

また、ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorerでは「表示(ツール)」、「インターネットオプション」、「接続」、「LANの設定」、Netscapeでは「編集」、「設定」、「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン(アドレス)にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。

通常の接続の設定

通常の接続の場合、プロバイダからのIPアドレスの割り当てには、固定のIPアドレスが提供される場合と、接続時にDHCPサーバから自動的にIPアドレスが割り当てられる場合があります。

<IPアドレスがDHCPサーバにより自動的に割り当てられる場合>
プロバイダから特にIPアドレスの指定がなく、IPアドレスを自動的に取得するよう指定されている場合は、通常は何も設定する必要はありません。

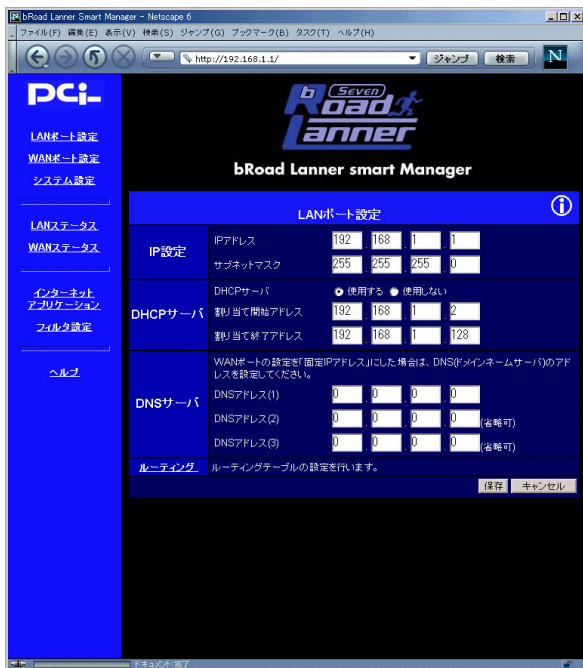
ただし、プロバイダによっては、ホスト名やドメイン名が指定されている場合があります。この場合は以下の手順でホスト名、ドメイン名の設定を行ってください。

ホスト名、ドメイン名の指定がない場合は、第3章「3.接続の確認」に進んでください。

- 1.コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動してください。
- 2.WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押してください。
- 3.本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。ユーザ名は空欄のまま、デフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。



4.本製品の設定画面が表示されます。



5.画面左にあるメニュー内の「WANポート設定」をクリックしてください。「WANポート設定」画面が表示されたら、「通常の接続」を選択して「設定」ボタンをクリックしてください。

WANポート設定 i	
WANポート	<p>プロバイダがPPPoEを使用している場合は「PPPoE接続」を選択してください。その他の場合は「通常の接続」を選択してください。</p> <p>接続方法を選択し「設定」ボタンをクリックしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 通常の接続 <input checked="" type="radio"/> PPPoE接続
設定	

6. 「WANポート設定 通常の接続」画面が表示されます。「デバイス情報」内の「ドメイン名」と「ホスト名」をプロバイダから指定されたものに変更してください。指定されていない項目についてはデフォルト値のままにしておいてください。

WANポート設定 通常の接続 i					
デバイス情報	ドメイン名 <input type="text"/>				
	ホスト名 <input type="text" value="p1002350"/>				
	MACアドレス <input type="text" value="00-90-cc-13-67-25"/>				
IP設定	IPアドレス <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> DHCPサーバから自動取得 <input type="radio"/> 固定IPアドレス 				
	IPアドレス <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text" value="0"/></td></tr> </table>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	
	サブネットマスク <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text" value="0"/></td></tr> </table>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>		
ゲートウェイ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text" value="0"/></td></tr> </table>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	
<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>		
<input type="button" value="デフォルトに戻す"/> <input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>					

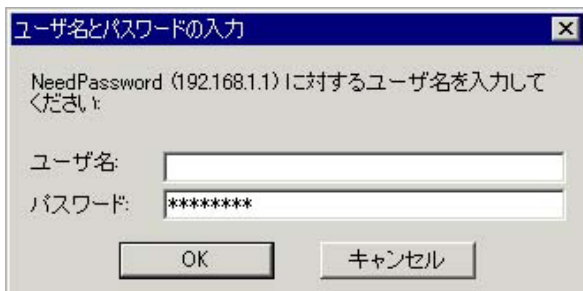
7. 「保存」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。
8. 「ドメイン名」を設定した場合は、設定を反映させるため、コンピュータを再起動するか、IP設定の再取得を行ってください。

< 固定のIPアドレスが割り当てられる場合 >

プロバイダから固定のIPアドレスが割り当てられている場合は、以下の情報を用意してWAN側ポートの設定を行ってください。

- a. プロバイダから割り当てられているIPアドレス
- b. プロバイダから割り当てられているサブネットマスク
- c. プロバイダから割り当てられているゲートウェイIPアドレス
- d. DNS(ドメインネームサーバ)のIPアドレス
- e. ドメイン名(指定されている場合)
- f. ホスト名(指定されている場合)

1. コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動してください。
2. WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押してください。
3. 本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。ユーザ名は空欄のまま、デフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。



4.本製品の設定画面が表示されます。



- 5.画面左にあるメニュー内の「WANポート設定」をクリックしてください。「WANポート設定」画面が表示されたら、「通常の接続」を選択して「設定」ボタンをクリックしてください。

WANポート設定		i
WANポート	プロバイダがPPPoEを使用している場合は「PPPoE接続」を選択してください。その他の場合は「通常の接続」を選択してください。	
	接続方法を選択し「設定」ボタンをクリックしてください。	
	<input checked="" type="radio"/> 通常の接続 <input type="radio"/> PPPoE接続	
		設定

- 6.「WANポート設定 通常の接続」画面が表示されます。IPアドレスで「固定IPアドレス」を選択し、次の項目を手動で設定してください。

WANポート設定 通常の接続		i
デバイス情報	ドメイン名	<input type="text"/>
	ホスト名	<input type="text" value="p1002350"/>
	MACアドレス	00-90-cc-13-67-25
IP設定	IPアドレス	<input type="radio"/> DHCPサーバから自動取得 <input checked="" type="radio"/> 固定IPアドレス
	IPアドレス	<input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="100"/> <input type="text" value="235"/>
	サブネットマスク	<input type="text" value="255"/> <input type="text" value="255"/> <input type="text" value="255"/> <input type="text" value="0"/>
	ゲートウェイ	<input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="100"/> <input type="text" value="1"/>
		<input type="button" value="デフォルトに戻す"/> <input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

「IPアドレス」

プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。

「サブネットマスク」

プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。

「ゲートウェイ」

プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力してください。

「ドメイン名」

プロバイダから指定されている場合は、指定されたドメイン名を入力してください。

「ホスト名」

プロバイダから指定されている場合は、指定されたホスト名を入力してください。

- 7.「保存」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。
- 8.画面左のメニューから「LANポート設定」を選択してください。
「LANポート設定」画面が表示されるので、「DNSアドレス(1)」にプロバイダから指定されたDNS(ドメインネームサーバ)のアドレスを入力してください。2つ以上のDNSアドレスが指定されている場合は「DNSアドレス(2)」、「DNSアドレス(3)」も入力してください。

LANポート設定 i					
IP設定	IPアドレス	192	168	1	1
	サブネットマスク	255	255	255	0
DHCPサーバ	DHCPサーバ	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない			
	割り当て開始アドレス	192	168	1	2
	割り当て終了アドレス	192	168	1	128
DNSサーバ	WANポートの設定を「固定IPアドレス」にした場合は、DNS(ドメインネームサーバ)のアドレスを設定してください。				
	DNSアドレス(1)	192	168	100	10
	DNSアドレス(2)	192	168	100	11 (省略可)
	DNSアドレス(3)	0	0	0	0 (省略可)
ルーティング	ルーティングテーブルの設定を行います。				
保存 キャンセル					

- 9.「保存」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。
- 10.設定を反映させるため、コンピュータを再起動するか、IP設定の再取得を行ってください。

PPPoE接続の設定

PPPoE(Point to Point Protocol over Ethernet)とは、ダイヤルアップ接続で一般的に用いられているPPP(Point to Point Protocol)接続をEthernet上で実現する方式です。通常、インターネット常時接続ではネットワーク設定に関する技術的な知識を必要としますが、PPPoE接続では、基本的にユーザー名とパスワードの設定だけで簡単にインターネットに接続できます。ただし、ダイヤルアップ接続でのPPPと違い、コンピュータにPPPoE接続のための専用のソフトウェア(NTTや各プロバイダから提供予定)をインストールする必要があります。また、通常、1つの契約(1セッション)には1個のIPアドレスしか割り当てられないため、1台のコンピュータしかインターネットに接続できません。

本製品のPPPoE接続機能を使用すると本製品自身がPPPoEクライアントとしてプロバイダとのPPPoEセッションを確立するので、コンピュータにPPPoE接続ソフトウェアをインストールする必要はありません。

プロバイダへの接続はコンピュータからインターネットへの接続要求が発生した場合に、本製品が自動的に行います。また、インターネット側との通信が設定した時間(分単位)なかった場合自動的に接続を切断します。

さらに、NAT/IPマスカレード機能により、1台分の契約で、複数のコンピュータから同時にインターネット接続が可能です。

< 設定手順 >

1. コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動してください。
2. WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のIPアドレス(デフォルト値は「192.168.1.1」)を入力し、Enterキーを押してください。
3. 本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。ユーザ名は空欄のまま、デフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。




4.本製品の設定画面が表示されます。

The screenshot shows the 'bRoad Lanner smart Manager' configuration page. The browser window title is 'bRoad Lanner Smart Manager - Netscape 6'. The address bar shows 'http://192.168.1.1/'. The page has a blue header with the 'bSeven Road Lanner' logo and the title 'bRoad Lanner smart Manager'. A left sidebar contains the following menu items: LANポート設定, WANポート設定, システム設定, LANステータス, WANステータス, インターネットアプリケーション, フィルタ設定, and ヘルプ. The main content area is titled 'LANポート設定' and contains the following sections:


LANポート設定	
IP設定	IPアドレス: 192 168 1 1
	サブネットマスク: 255 255 255 0
DHCPサーバ	DHCPサーバ: <input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
	割り当て開始アドレス: 192 168 1 2
	割り当て終了アドレス: 192 168 1 128
DNSサーバ	WANポートの設定を「固定IPアドレス」にした場合は、DNS(ドメインネームサーバ)のアドレスを設定してください。
	DNSアドレス(1): 0 0 0 0
	DNSアドレス(2): 0 0 0 0 (省略可)
DNSアドレス(3): 0 0 0 0 (省略可)	
ルーティング	ルーティングテーブルの設定を行います。

At the bottom right of the configuration area, there are buttons for '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel).

- 5.画面左にあるメニュー内の「WANポート設定」をクリックしてください。「WANポート設定」画面が表示されたら、「PPPoE接続」を選択して「設定」ボタンをクリックしてください。

WANポート設定 	
WANポート	プロバイダがPPPoEを使用している場合は「PPPoE接続」を選択してください。その他の場合は「通常の接続」を選択してください。
	接続方法を選択し「設定」ボタンをクリックしてください。
	<input type="radio"/> 通常の接続 <input checked="" type="radio"/> PPPoE接続
<input type="button" value="設定"/>	

- 6.PPPoE接続の設定画面が表示されます。

WANポート設定 PPPoE接続 	
ログイン情報	ユーザ名(アカウント名) <input type="text"/>
	パスワード <input type="password"/>
	パスワードの確認 <input type="password"/>
	サービス名 <input type="text"/>
IP設定	IPアドレス <input checked="" type="radio"/> 自動取得
	<input checked="" type="radio"/> 固定IPアドレス <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
オプション	自動切断までの時間 <input type="text" value="10"/> 分
	自動接続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効にする
	自動接続を無効にした場合、接続を行うには「WANステータス」画面の「接続」ボタンを使用してください。
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

7.以下の項目を設定してください。

「ユーザ名(アカウント名)」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のユーザ名(アカウント名)を入力してください。

「パスワード」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のパスワードを入力してください。

「パスワードの確認」

確認のためパスワードをもう一度入力してください。

「サービス名」

プロバイダによってはPPPoE接続のサービス名が指定される場合があります。この場合は指定されたサービス名を入力してください。サービス名の指定がない場合は空白のままでもかまいません。

「IPアドレス」

プロバイダから固定IPアドレスの指定がない場合は「自動取得」を選択してください。PPPoE接続の際にIPアドレスを自動取得します。プロバイダから固定のIPアドレスが指定されている場合は「固定IPアドレス」を選択し、指定されたIPアドレスを入力してください。

「自動切断までの時間」

ここで設定した時間、インターネットへの通信がない状態が続くとPPPoE接続を自動切断します。自動切断を行わない場合は"0"を設定してください。設定できる値は0-99(分)です。

「自動接続」

「有効にする」をチェックすると、LAN側ネットワークからインターネット側への通信が発生したときに自動でPPPoE接続を行います。通常は有効にしておくことを推奨します。無効にした場合、PPPoEの接続を行うには、「WANステータス」画面の「接続」ボタンをクリックして手動で接続を行ってください。

8.設定が終了したら「保存」ボタンをクリックしてください。

9.PPPoEの接続の確認を行います。メニューから「WANステータス」を選択してください。

WANステータス PPPoE接続		
WANステータス	MACアドレス	00-90-cc-13-67-25
	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	0.0.0.0
	PPPoE接続ステータス	OFF
接続ログ	[Empty Log Area]	
ログのクリア		
接続 切断 表示の更新		

10.「接続」ボタンをクリックしてください。"PPPoE接続に成功しました。"というメッセージが表示され、PPPoE接続ステータスが"ON"になれば接続は成功です。PPPoE接続が成功しない場合は、ユーザ名、パスワード等の設定に間違いがないか確認してください。また、第6章「14.ステータス表示」を参照して"PPPoE接続ログ"の内容も確認してください。

11.設定を反映させるため、コンピュータを再起動するか、IP設定の再取得を行ってください。

<プロバイダから配布されるPPPoE接続ソフトウェアについて>
本製品のPPPoE接続の設定後はコンピュータにPPPoE接続ソフトをインストールする必要はありません。インストールしてある場合は、アンインストールするか、そのソフトの自動接続機能を無効にしてください。

3. 接続の確認

コンピュータ上でWEBブラウザを起動し、任意のURLを入力し、ページが表示されるか確認してください。表示されない場合は、プロバイダから指定されている設定をよく確認して、もう一度「簡単設定」をやり直してください。それでも接続できない場合は、「付録 A トラブルシューティング」を参照してください。

注意 プロバイダによっては、インターネットに接続できる機器をMACアドレスにより管理している場合があります。このような場合は本製品の裏面に記載されているMACアドレスをプロバイダに登録しなおしてください。MACアドレスによる管理を行っているかどうか、また、MACアドレスの登録変更の方法についてはご契約先のプロバイダに確認してください。

4. プリントサーバ機能

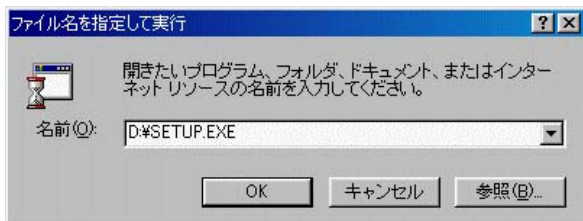
1. プリントサーバ機能について

本製品はプリンタをネットワーク上で共有する為のプリントサーバとしても機能します。本製品を利用する事で、Windows環境上で簡単にTCP/IPを用いてプリンタを共有する事が可能です。本製品にはプリンタと接続する為の、D-SUB25ピン・パラレルポートを備えています。

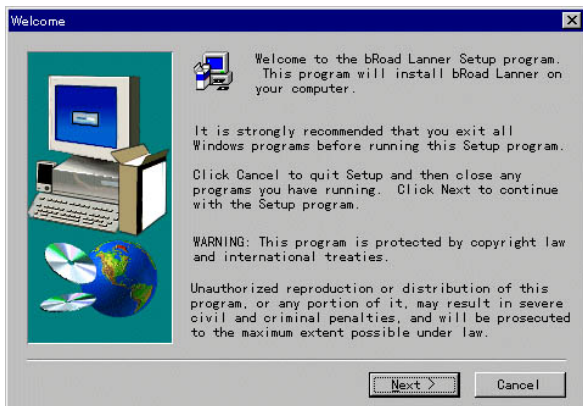
2. Windows 98/98 Second Editionへのインストール

Windows 98/98 Second Editionから本製品をプリントサーバとしてご使用になる場合は、付属のプリンタ・ポート・ドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。インストールを行う前に、コンピュータと本製品のIPアドレスの設定をしてください。

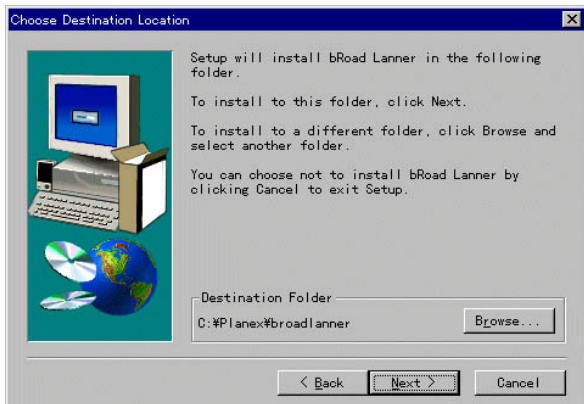
- 1.本製品付属のドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへ挿入してください。[スタート]メニューから、[ファイル名を指定して実行]を選択してください。[名前]に「D: ¥SETUP.EXE(CD-ROMドライブがDドライブの場合)」と入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。



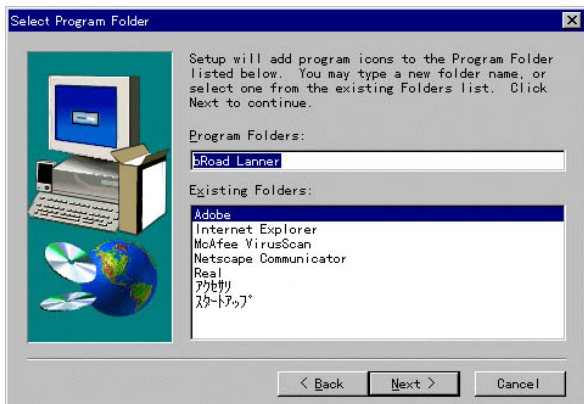
- 2.プリンタ・ポート・ドライバとソフトウェアのインストーラーが起動します。[NEXT]ボタンをクリックしてください。



- 3.ソフトウェアのインストール先フォルダを指定するウィンドウが表示されます。デフォルトのフォルダは「C : ¥planex¥broadlanner」です。インストール先フォルダを変更する場合は [Browse] ボタンをクリックして、インストール先フォルダを指定してください。インストール先フォルダを指定したら [NEXT] ボタンをクリックしてください。



4. ソフトウェアを[スタート]メニューの[プログラム]フォルダへ登録するウィンドウが表示されます。デフォルトでは [bRoad Lanner]フォルダに登録されます。フォルダ名を変える場合は [Program Folder] にフォルダ名を入力してください。フォルダ名を入力したら [NEXT] ボタンをクリックしてください。プリンタ・ポート・ドライバとソフトウェアがインストールされます。



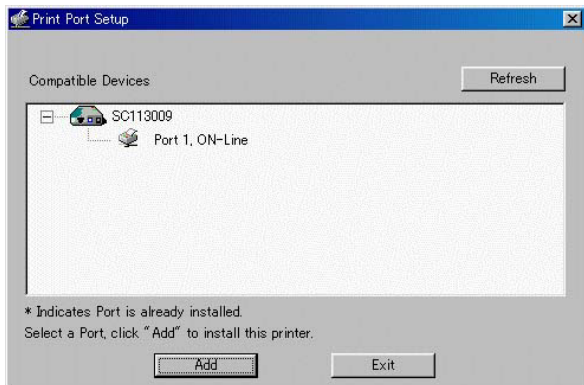
5. インストールが終了のウィンドウが表示されます。Windows 98/98 Second Editionでご使用の場合は、[Run Print Port Setup Now]にチェックマークをいれて、[Finish]ボタンをクリックしてください。インストーラーが終了します。



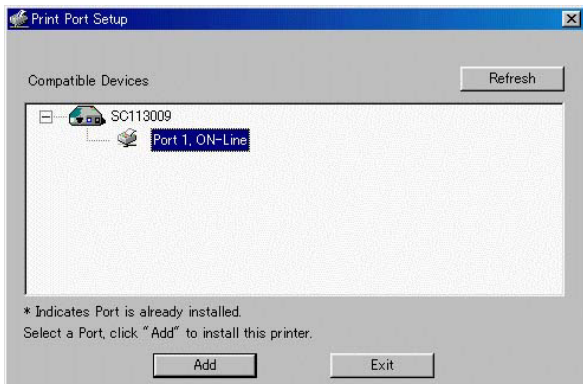
6. インストーラが終了後、プリンタ・ポート・ドライバのセットアップユーティリティーが起動します。本製品が正常にネットワークに接続されている事と、電源が入っている事を確認し、[OK] ボタンをクリックしてください。



7. ネットワーク上の本製品が自動的に検索され表示されます。本製品が検出されない場合は、接続と電源を確認してください。また、IPアドレスの設定に問題ないか確認してください。確認したら、[Refresh] ボタンをクリックして、再検索してください。



8. ポートの追加をする為には、検出された本製品のポート [Port1, On-Line] を選択してから [Add] ボタンをクリックしてください。



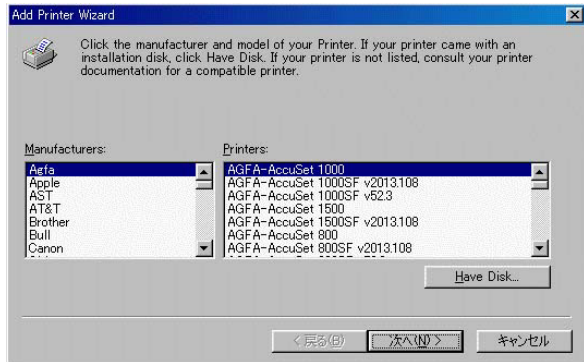
9. EPSONのインクジェットカラープリンタを接続しているか聞かれますので、ご使用のプリンタがエプソンのインクジェットカラープリンタの場合は、[はい] ボタンを、それ以外のプリンタをご使用の場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。 [はい] をクリックした場合は、EPSONのスプールマネージャーをDisableにしてください。スプールマネージャーの設定についてはプリンタのマニュアルを参照してください。



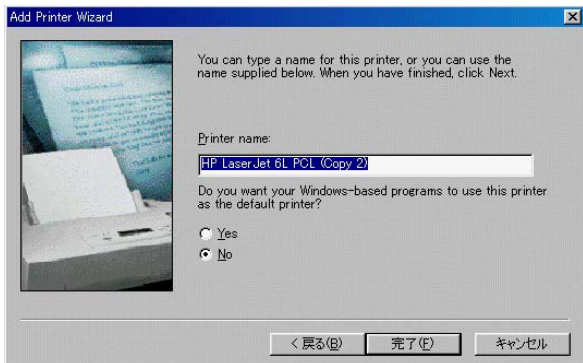
10. プリンタポートが正常に追加されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。



11. プリンタポートの追加が終了すると[プリンタの追加ウィザード] が起動します。プリンタの選択画面が表示されますので、ご使用のプリンタのマニュアルを参照してプリンタを選択してください。



12. プリンタ名を設定するウィンドウが開きます。[プリンタ名] にインストールしたプリンタの名前を入力し、インストールしたプリンタを通常使うプリンタにする場合は[Yes]に、通常使うプリンタにしない場合は[No]にチェックマークを入れ、[完了]ボタンをクリックしてください。プリンタのインストールが終了します。1台目のプリンタのインストールの場合には自動的に通常使うプリンタになります。

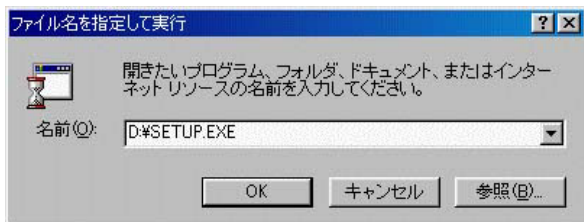


13. [マイコンピュータ]から[プリンタ]を開いて、プリンタが追加されている事を確認してください。追加されたプリンタアイコンを右クリックして[プロパティ]を選択してください。プリンタのプロパティが開きますので、[印字テスト]ボタンをクリックしてください。正常にプリンタから印刷されればインストール完了です。

3. Windows Meへのインストール

本製品をWindows Meからプリントサーバとしてご使用になる場合は、付属のプリンタ・ポート・ドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。インストールを行う前に、コンピュータと本製品のIPアドレスの設定をしてください。

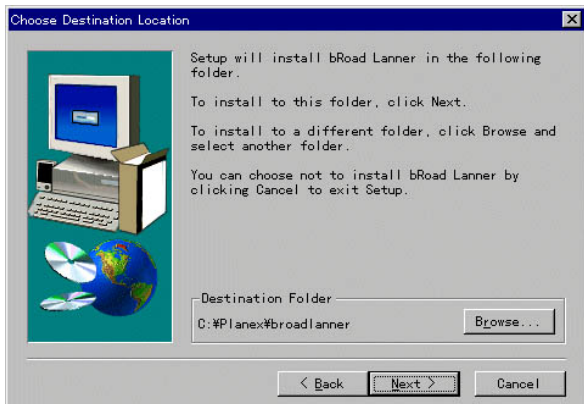
1. 本製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブへ挿入してください。[スタート]メニューから、[ファイル名を指定して実行]を選択してください。[名前]に「D: ¥SETUP.EXE(CD-ROMドライブがDドライブの場合)」と入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。



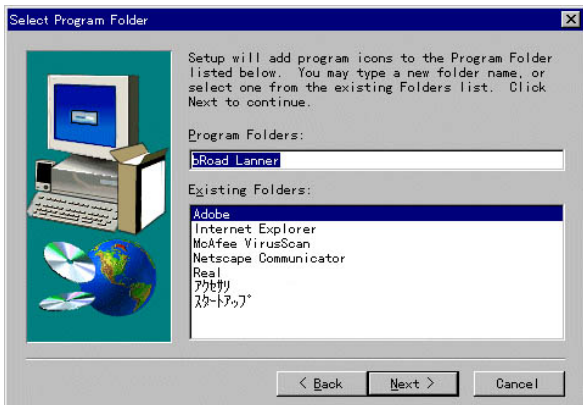
2. プリンタ・ポート・ドライバとソフトウェアのインストーラーが起動します。[NEXT] ボタンをクリックしてください。



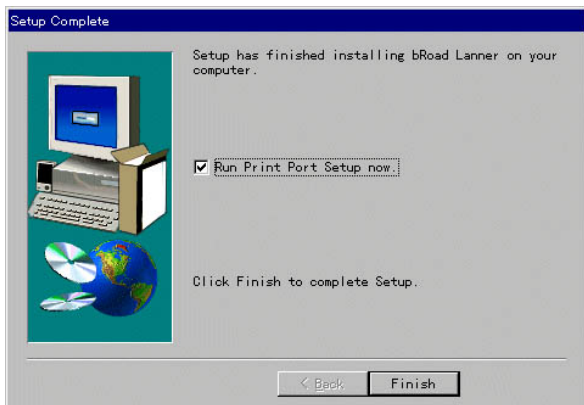
3. ソフトウェアのインストール先フォルダを指定するウィンドウが表示されます。デフォルトのフォルダは「C: ¥planex¥broadlanner」です。インストール先フォルダを変更する場合は [Browse] ボタンをクリックして、インストール先フォルダを指定してください。インストール先フォルダを指定したら [NEXT] ボタンをクリックしてください。



- 4.ソフトウェアを[スタート]メニューの[プログラム]フォルダへ登録するウィンドウが表示されます。デフォルトでは [bRoad Lanner]フォルダに登録されます。フォルダ名を変える場合は[Program Folder]にフォルダ名を入力してください。フォルダ名を入力したら[NEXT]ボタンをクリックしてください。プリンタ・ポート・ドライバとソフトウェアがインストールされます。



- 5.インストールが終了のウィンドウが表示されます。WindowsMeでご利用の場合は、[Run Print Port Setup Now]にチェックマークを外してから[Finish]ボタンをクリックしてください。インストーラーが終了します。



6. [マイコンピュータ]から[コントロールパネル]を開いてから [プリンタ]を開いてください。[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックしてください。[プリンタの追加ウィザード]が開始されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



7. プリンタの接続場所を聞かれますので、[ローカルプリンタ] にチェックマークを入れ、[次へ] ボタンをクリックしてください。



8. プリンタの選択画面が表示されますので、ご使用のプリンタのマニュアルを参照してプリンタを選択してください。[次へ] ボタンをクリックします。



9. プリンタの使用するポートの選択ウィンドウが開きますので、[LPT:1 プリンタポート]を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



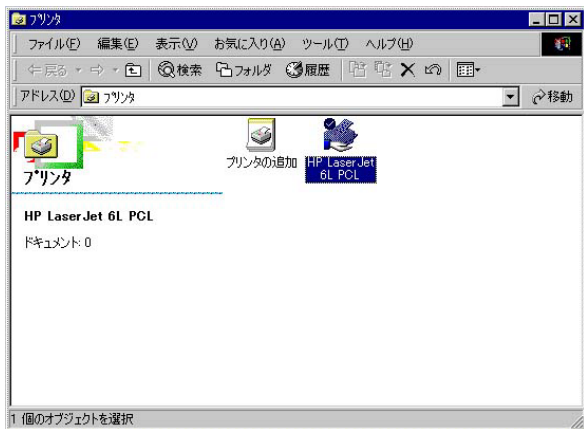
10. プリンタ名を設定するウィンドウが開きます。[プリンタ名] にインストールしたプリンタの名前を入力し、インストールしたプリンタを通常使うプリンタにする場合は[はい]に、通常使うプリンタにしない場合は[いいえ]にチェックマークを入れ、[完了]ボタンをクリックしてください。プリンタのインストールが終了します。1台目のプリンタのインストールの場合には自動的に通常使うプリンタになります。



11. 印字テストを行うか聞いてきますので、[いいえ] にチェックマークを入れてから [完了] ボタンをクリックしてください。プリンタのインストールが完了します。



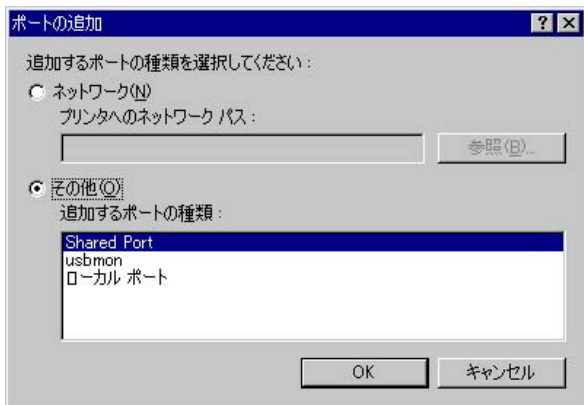
- 12.[プリンタ]ウィンドウにインストールされたプリンタのアイコンが追加されます。追加されたアイコンを右クリックして、[プロパティ]を選択します。



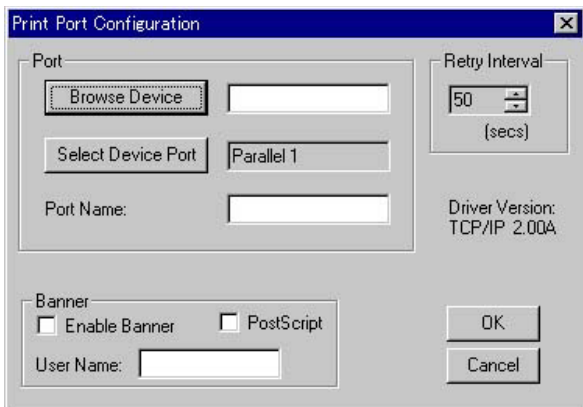
13. プリンタのプロパティが開きますので、[詳細] タブをクリックしてください。[詳細] が開いたら [ポートの追加] ボタンをクリックしてください。



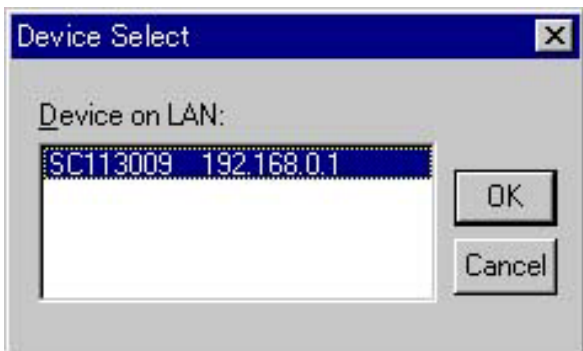
14. ポートの追加ウィンドウが開きますので、[その他]にチェックマークを入れてください。[追加するポートの種類]から [Shared Port]を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



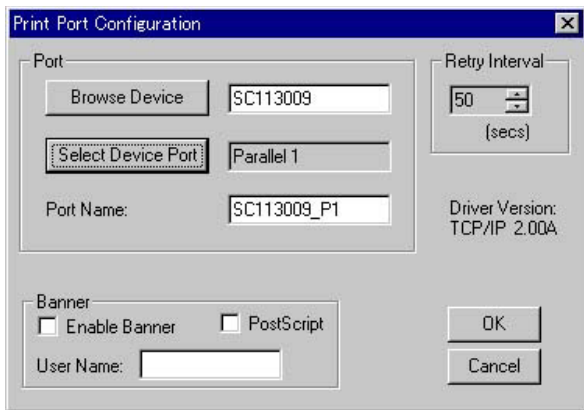
15. プリンタ・ポートの設定ウィンドウが開きます。[Browse Device]ボタンをクリックしてください。



- 16.デバイスの選択ウィンドウが表示されます。ネットワーク上の本製品が検出され一覧が表示されます。インストールするデバイスを選択して、[OK]ボタンをクリックしてください。



17. プリンタ・ポートの設定画面に戻ります。デバイスとポートを確認して、[OK] ボタンを確認してください。



18. プリンタのプロパティに戻ります。印刷先のポートが、追加されたポートになっている事を確認して、[適用] ボタンをクリックしてください。



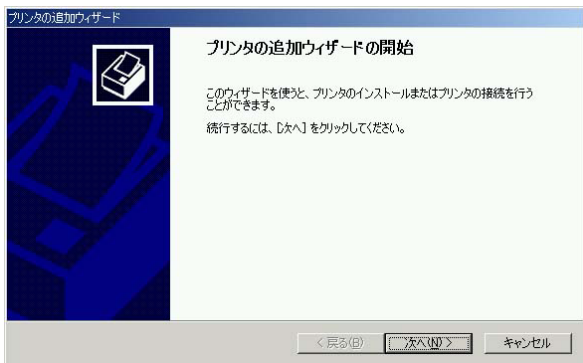
19. [全般] タブをクリックしてください。全般タブが開きますので、[印字テスト] ボタンをクリックしてください。正常にプリンタから印刷されればインストール完了です。[OK] ボタンをクリックしてください。



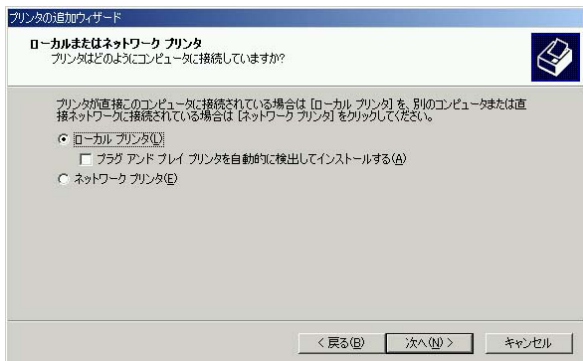
4. Windows 2000へのインストール

本製品をWindows 2000からプリントサーバとしてご使用になる場合は、Windows 2000のプリンタ設定を行う前に、コンピュータと本製品のIPアドレスの設定をしてください。

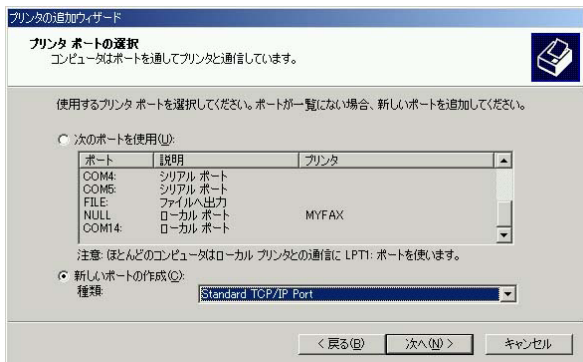
1. [マイコンピュータ]から[コントロールパネル]を開いて、[プリンタ]を開いてください。[プリンタの追加]をダブルクリックしてください。[プリンタの追加ウィザード]が始まります。[次へ]ボタンをクリックしてください。



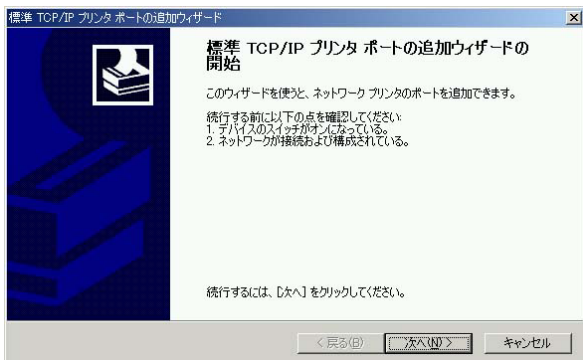
2. プリンタの接続先の選択ウィンドウが表示されます。[ローカルプリンタ]にチェックマークを入れてください。[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする]からチェックマークを外してください。[次へ]ボタンをクリックしてください。



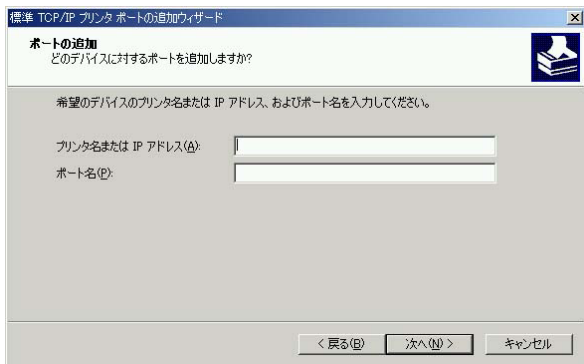
3. プリンタポートの選択ウィンドウが表示されます。[新しいポートの作成] にチェックマークをいれてください。[種類] から「Standard TCP/IP Port」を選択してから、[次へ] ボタンをクリックしてください。



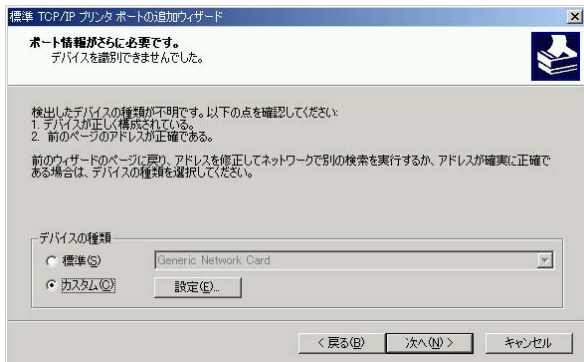
- 4.[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]が始まります。
[次へ]ボタンをクリックしてください。



- 5.ポートの追加ウィンドウが表示されます。[プリンタ名またはIPアドレス]に本製品のLAN側ポートに割り当てたIPアドレスを入力してください。ポート名はIPアドレスを入力すると自動的に入力されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



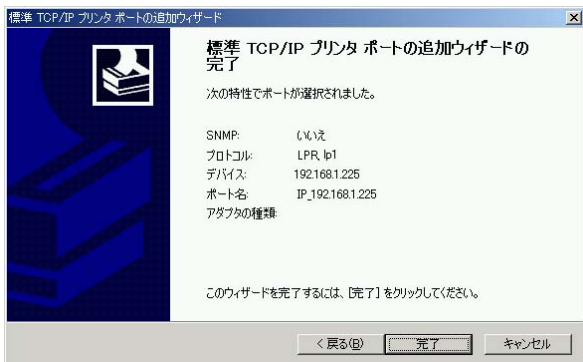
6. デバイスの種類の選択ウィンドウが表示されます。[カスタム] にチェックマークを入れ、[設定] ボタンをクリックしてください。



7. ポートの設定ウィンドウが表示されます。[プロトコル] から [LPR] にチェックマークを入れてください。[LPR設定] の [キュー名] に「lp1」と入力し、[LPRバイトカウントを有効にする] にチェックマークを入れてください。設定し終わったら [OK] ボタンをクリックしてください。



- 8.標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了ウィンドウが表示されますので、設定内容を確認して、[完了]ボタンをクリックしてください。




9. [標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]が完了すると [プリンタの追加ウィザード]に戻ります。プリンタの選択画面が表示されますので、ご使用のプリンタのマニュアルを参照してプリンタを選択してください。[次へ]ボタンをクリックします。



10. プリンタ名を設定するウィンドウが開きます。[プリンタ名] にインストールしたプリンタの名前を入力し、インストールしたプリンタを通常使うプリンタにする場合は[はい]に、通常使うプリンタにしない場合は[いいえ]にチェックマークを入れ、[次へ]ボタンをクリックしてください。1台目のプリンタのインストールの場合には自動的に通常使うプリンタになります。

プリンタの追加ウィザード

プリンタ名
このプリンタに名前を割り当ててください。



このプリンタの名前を指定してください。一部のプログラムでは、32 文字以上のサーバーとプリンタ名の組み合わせはサポートされていません。

プリンタ名(P):

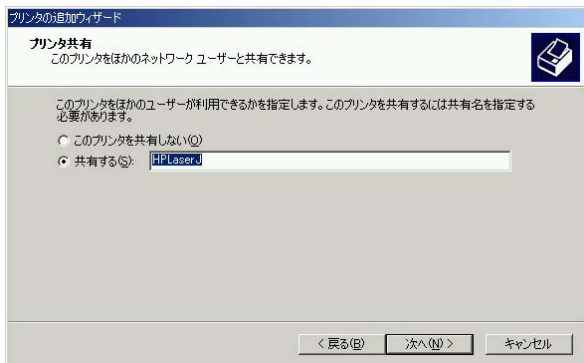
Windows アプリケーションで、このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか?

はい(Y)

いいえ(N)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル


11. プリンタの共有設定ウィンドウが表示されます。インストールしたコンピュータを通してプリンタを共有する場合は、[共有する]にチェックマークを入れ、共有名を入力してください。共有しない場合は[このプリンタを共有しない]にチェックマークを入れてください。[次へ]ボタンをクリックしてください。



12. プリンタを共有する設定にした場合は、プリンタの場所とコメントを入力するウィンドウが開きます。[場所]と[コメント]を任意に入力してから、[次へ]ボタンをクリックしてください。

プリンタの追加ウィザード

場所とコメント
このプリンタの場所とコメントを指定できます。



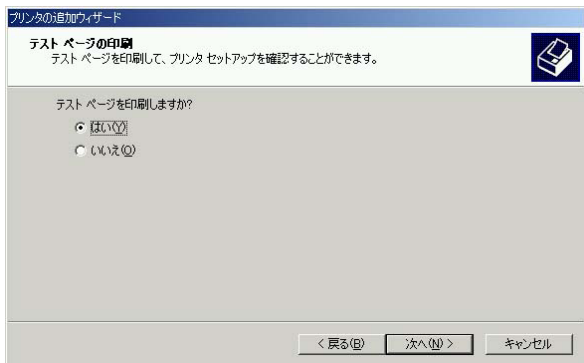
このプリンタの場所およびプリンタの機能を説明するコメントを提供することができます。この情報はユーザーに役立ちます。

場所(L):

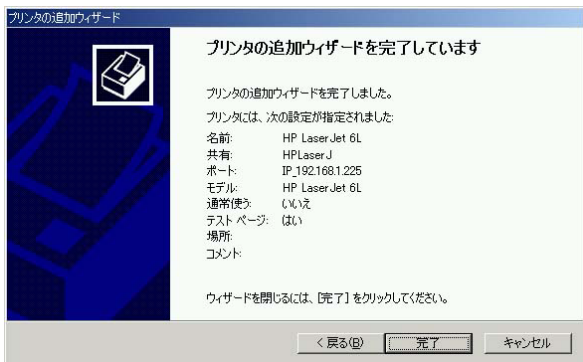
コメント(C):

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

13. テストページの印刷の選択ウィンドウが表示されます。[プリンタの追加ウィザード]の完了時にテスト印刷をする場合は [はい]に、テストページの印刷をしない場合には [いいえ]にチェックマークを入れ、[次へ]ボタンをクリックします。インストールが正常に終了したのを確認するために、ここではなるべく [はい]を選択してください。



14. プリンタの追加ウィザードの完了ウィンドウが表示されます。設定内容を確認してから[完了]ボタンをクリックしてください。テストページの印刷を選択していた場合は印刷が始まります。正常にプリンタから印刷されればインストール完了です。



5. 詳細設定

ここでは、WEBブラウザを使用して本製品の各機能の詳細な設定を行う手順を説明します。

注意 WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscapeまたは Microsoft Internet Explorerのバージョン4.0以降のご使用を推奨します。

また、ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorerでは「表示(ツール)」、「インターネットオプション」、「接続」、「LANの設定」、Netscapeでは「編集」、「設定」、「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン(アドレス)にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。

1. 設定画面を開く

- 1.本製品のLAN側ネットワークに接続したコンピュータ上でWEBブラウザを起動してください。
- 2.WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のLAN側ポートのIPアドレス(デフォルトでは 192.168.1.1)を入力し[Enter]キーを押してください。

- 3.本製品にログインするためのユーザ名とパスワードを入力するダイアログが表示されるのでユーザ名は空欄のままパスワードのみ入力してください。デフォルト設定では、パスワードは「password」です。




4. 本製品の設定画面が表示されます。画面左側に表示されているのが設定項目のメニューです。メニューの「ヘルプ」をクリックするとオンラインヘルプのメニューが表示されます。また、各設定画面で「i」アイコンをクリックするとその画面のオンラインヘルプが表示されます。



2. 管理者パスワードの設定

本製品の管理者パスワードはデフォルトでは「password」に設定されています。本製品の使用に際してはセキュリティ上、管理者パスワードを変更することを推奨します。

管理者パスワードの変更を行うには、メニューから「システム設定」をクリックしてください。

システム設定 	
パスワード	設定画面へログインするためのパスワードを設定します。 新しいパスワード <input type="password" value="*****"/>
	新しいパスワードの確認 <input type="password" value="*****"/>
NAT	インターネットアクセスを共有するためにはNATを有効にする必要があります。 <input checked="" type="radio"/> NATを有効にする <input type="radio"/> NATを無効にする
TFTP	通常ファームウェアのアップデートはWindowsユーティリティから行います。TFTP(Trivial FTP)からアップデートを行う場合は以下を有効にしてください。 <input type="checkbox"/> ファームウェアのアップデートのためにTFTPを有効にする
インターネットからの設定	インターネットからの設定画面へのログインを可能にします。 <input type="checkbox"/> インターネットからの設定を許可する
	ポート番号 <input type="text" value="80"/> WANポートのIPアドレス 192.168.100.235
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

- 1.パスワードの「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」の欄に新しいパスワードを入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。パスワードの最大長は半角文字で8文字です。
- 2.ログインダイアログが表示されるので新しいパスワードを入力してログインしなおしてください。

3. インターネット(WAN側)からの設定の許可

本製品はセキュリティ確保のため、デフォルトの状態ではインターネット(WAN側)から設定画面へのログインはできないようになっています。インターネットからの設定画面へのログインを許可するには、メニューから「システム設定」をクリックしてください。

システム設定	
パスワード	設定画面へログインするためのパスワードを設定します。 新しいパスワード <input type="password" value="*****"/> 新しいパスワードの確認 <input type="password" value="*****"/>
NAT	インターネットアクセスを共有するためにはNATを有効にする必要があります。 <input checked="" type="radio"/> NATを有効にする <input type="radio"/> NATを無効にする
TFTP	通常ファームウェアのアップデートはWindowsユーティリティから行います。TFTP(Trivial FTP)からアップデートを行う場合は以下を有効にしてください。 <input type="checkbox"/> ファームウェアのアップデートのためにTFTPを有効にする
インターネットからの設定	インターネットからの設定画面へのログインを可能にします。 <input checked="" type="checkbox"/> インターネットからの設定を許可する ポート番号 <input type="text" value="80"/> WANポートのIPアドレス 192.168.100.235
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

「インターネットからの設定を許可する」

このチェックボックスをチェックするとインターネット(WAN側)から設定画面にログインできるようになります。

「ポート番号」

設定画面にログインするためのポート番号を変更したい場合のみ
設定してください。

4. LANポートのIPアドレスの設定

LAN側ポートのIP設定を変更するには、メニューから「LANポート設定」をクリックしてください。

LANポート設定					
IP設定	IPアドレス	192	168	1	1
	サブネットマスク	255	255	255	0
DHCPサーバ	DHCPサーバ	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない			
	割り当て開始アドレス	192	168	1	2
	割り当て終了アドレス	192	168	1	128
DNSサーバ	WANポートの設定が「固定IPアドレス」にした場合は、DNS(ドメインネームサーバ)のアドレスを設定してください。				
	DNSアドレス(1)	0	0	0	0
	DNSアドレス(2)	0	0	0	0 (省略可)
	DNSアドレス(3)	0	0	0	0 (省略可)
ルーティング	ルーティングテーブルの設定を行います。				
					<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

「IPアドレス」

LAN側ポートに設定するIPアドレスを入力してください。デフォルトでは「192.168.1.1」に設定されています。

「サブネットマスク」

LAN側ポートに設定するサブネットマスクを入力してください。デフォルトでは「255.255.255.0」に設定されています。

設定を変更した場合は「保存」ボタンをクリックしてください。

5. WANポートの設定

WAN側ポートのIP設定を変更するには、メニューから「WANポート設定」をクリックしてください。

本製品はWAN側ポートの接続方法として、通常の接続とPPPoE (PPP over Ethernet)に対応しています。プロバイダ側がPPPoEに対応している場合は「PPPoE接続」を選択してください。それ以外の場合は「通常の接続」を選択してください。接続方法を選択したら「設定」ボタンをクリックしてください。

WANポート設定		?
WANポート	プロバイダがPPPoEを使用している場合は「PPPoE接続」を選択してください。その他の場合は「通常の接続」を選択してください。	
	接続方法を選択し「設定」ボタンをクリックしてください。	
	<input checked="" type="radio"/> 通常の接続 <input type="radio"/> PPPoE接続	
		設定

通常接続の設定

WANポート設定で「通常の接続」を選択して「設定」ボタンをクリックすると、通常接続の設定画面が表示されます。

WANポート設定 通常の接続		?
デバイス情報	ドメイン名	<input type="text"/>
	ホスト名	<input type="text" value="p1002350"/>
	MACアドレス	<input type="text" value="00-90-cc-13-67-25"/>
IP設定	IPアドレス	<input checked="" type="radio"/> DHCPサーバから自動取得 <input type="radio"/> 固定IPアドレス
	IPアドレス	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
	サブネットマスク	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
	ゲートウェイ	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
		デフォルトに戻す 保存 キャンセル

「ホスト名」

通常はデフォルト値のままで変更する必要はありません。プロバイダによっては、ユーザの認証にホスト名が必要になる場合があります。この場合は、ここにプロバイダから指定されたホスト名を入力してください。

「ドメイン名」

プロバイダによっては、ドメイン名を指定される場合があります。この場合は、ここにプロバイダから指定されたドメイン名を入力してください。指定がない場合は、空白のままでかまいません。ここで入力したドメイン名は本製品のDHCPサーバ機能によりLAN側ポートのDHCPクライアントに対してドメインサフィックスとして設定されます。

「DHCPサーバから自動取得」

WAN側ポートのIP設定をプロバイダ側のDHCPサーバから自動的に取得する場合は、ここを選択してください。

「固定IPアドレス」

プロバイダから固定のIPアドレスが指定されている場合は、ここを選択し、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」にプロバイダから指定された値を設定してください。

「IPアドレス」

WAN側ポートに設定する、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。

「サブネットマスク」

WAN側ポートに設定する、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。

「ゲートウェイ」

プロバイダから指定された、WAN側ネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを入力してください。

設定を変更した場合は「保存」ボタンをクリックしてください。

PPPoE接続の設定

WANポート設定で「PPPoE接続」を選択して「設定」ボタンをクリックすると、PPPoE接続の設定画面が表示されます。

WANポート設定 PPPoE接続		i	
ログイン情報	ユーザ名(アカウント名)	<input type="text"/>	
	パスワード	<input type="password"/>	
	パスワードの確認	<input type="password"/>	
	サービス名	<input type="text"/>	
IP設定	IPアドレス	<input checked="" type="radio"/> 自動取得	
		<input checked="" type="radio"/> 固定IPアドレス	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
オプション	自動切断までの時間	<input type="text" value="10"/> 分	
	自動接続	<input checked="" type="checkbox"/> 有効にする	
<small>自動接続を無効にした場合、接続を行うには「WANステータス」画面の「接続」ボタンを使用してください。</small>			
		<input type="button" value="保存"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>

「ユーザ名(アカウント名)」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のユーザ名(アカウント名)を入力してください。

「パスワード」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のパスワードを入力してください。

「パスワードの確認」

確認のためパスワードをもう一度入力してください。

「サービス名」

プロバイダによってはPPPoE接続のサービス名が指定される場合があります。この場合は指定されたサービス名を入力してください。サービス名の指定がない場合は空白のままでもかまいません。

「IPアドレス」

プロバイダから固定IPアドレスの指定がない場合は「自動取得」を選択してください。PPPoE接続の際にIPアドレスを自動取得します。プロバイダから固定のIPアドレスが指定されている場合は「固定IPアドレス」を選択し、指定されたIPアドレスを入力してください。

「自動切断までの時間」

ここで設定した時間、インターネットへの通信がない状態が続くとPPPoE接続を自動切断します。自動切断を行わない場合は"0"を設定してください。設定できる値は0-99(分)です。

「自動接続」

「有効にする」をチェックすると、LAN側ネットワークからインターネット側への通信が発生したときに自動でPPPoE接続を行います。通常は有効にしておくことを推奨します。無効にした場合、PPPoEの接続を行うには、「WANステータス」画面の「接続」ボタンをクリックして手動で接続を行ってください。

設定を変更した場合は「保存」ボタンをクリックしてください。

PPPoE接続の確認

PPPoE接続が正常に行えるか、確認するには、メニューから「WANステータス」を選択してください。

WANステータス PPPoE接続		
WANステータス	MACアドレス	00-90-cc-13-67-25
	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	0.0.0.0
	PPPoE接続ステータス	OFF
接続ログ	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	

ログのクリア

接続 切断 表示の更新

「接続」ボタンをクリックしてください。"PPPoE接続に成功しました。"というメッセージが表示され、PPPoE接続ステータスが"ON"になれば接続は成功です。PPPoE接続が成功しない場合は、ユーザ名、パスワード等の設定に間違いがないか確認してください。また、第6章「14.ステータス表示」を参照して"PPPoE接続ログ"の内容も確認してください。

6. DHCPサーバ機能の設定

DHCPサーバ機能を使用すると、LAN側のローカルネットワーク上のコンピュータに自動でIPアドレスを割り当てるのが可能になります。LAN側ネットワークのコンピュータにIPアドレスを手動で設定する必要がなくなります。

本製品のDHCPサーバ機能の設定を行うには、メニューから「LANポート設定」をクリックしてください。

LANポート設定					
IP設定	IPアドレス	192	168	1	1
	サブネットマスク	255	255	255	0
DHCPサーバ	DHCPサーバ	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない			
	割り当て開始アドレス	192	168	1	2
	割り当て終了アドレス	192	168	1	128
DNSサーバ	WANポートの設定が「固定IPアドレス」にした場合は、DNS(ドメインネームサーバ)のアドレスを設定してください。				
	DNSアドレス(1)	192	168	100	10
	DNSアドレス(2)	192	168	100	11 (省略可)
	DNSアドレス(3)	0	0	0	0 (省略可)
ルーティング	ルーティングテーブルの設定を行います。				
					保存 キャンセル

「DHCPサーバ」

LAN側ポートのプライベートLAN上のコンピュータに対して、本製品のDHCPサーバ機能によってIP設定を自動的に割り当てる場合は、「使用する」を選択してください。DHCPサーバ機能を使用しない場合は「使用しない」を選択してください。

「割り当て開始アドレス」

DHCPサーバ機能によって、割り当てるIPアドレス範囲の開始アドレスを設定してください。本製品のLAN側ポートのIPアドレスは割り当て範囲内に入らないように設定してください。

「割り当て終了アドレス」

DHCPサーバ機能によって、割り当てるIPアドレス範囲の終了アドレスを設定してください。

「DNSアドレス(1)~(3)」

WAN側ポートの接続にPPPoEを使用している、またはIPアドレスを自動取得にしている場合は接続時にDNS(ドメインネームサーバ)アドレスも自動取得されるので、設定する必要はありません。WAN側ポートにプロバイダから指定された固定IPアドレスを使用している場合は、プロバイダから指定されたDNSアドレスを設定してください。

設定を変更した場合は「保存」ボタンをクリックしてください。

注意 DHCPサーバ機能を「使用しない」に設定した場合は、LAN側ネットワーク上のすべてのコンピュータのIPアドレスを手動で設定してください。

固定IP割り当ての設定

LAN側のネットワーク上でサーバを使用する場合などに、DHCPサーバから固定のIPアドレスを割り当てさせたい場合があります。固定IPアドレスの割り当ての設定は「フィルタ設定」メニューの「コンピュータの設定」で行います。

「コンピュータ名」

固定IPアドレスを割り当てるコンピュータの任意のコンピュータ名を入力してください。コンピュータ名は半角英数字で10文字以内で入力してください。

「MACアドレス」

固定IPアドレスを割り当てるコンピュータのMACアドレスを入力してください。MACアドレスは16進数で12桁続けて入力してください。コンピュータのMACアドレスの確認方法はコンピュータまたは、ネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。Windows95/98/Meであれば、winipcfg ユーティリティで確認できます。

「IPアドレス」

コンピュータに割り当てるIPアドレスを入力してください。
DHCPサーバの割り当て範囲内のアドレスを入力してください。

「セキュリティグループ」

コンピュータのセキュリティグループを選択してください。フィルタ設定の必要が無ければ「Everyone」を選択してください。詳しくは、第6章「10.フィルタ設定」を参照してください。

設定が終了したら「追加」ボタンをクリックしてください。

7. 特定アプリケーション

この機能を使用すると、ビデオ会議、インターネット電話、ネットワーク対戦ゲームなどで双方向通信、複数コネクション、TCP/UDP混在コネクション等が必要な特定のインターネットアプリケーションが使用できるようになります。特定アプリケーションの追加を行う前にあらかじめアプリケーションで使用するプロトコル(TCPまたはUDP)とポート番号の情報を用意しておいてください。特定アプリケーションは10個まで登録可能です。特定アプリケーションの設定は「インターネットアプリケーション」メニューの「特定アプリケーション」で行います。

特定アプリケーション	
エントリーを選択	アプリケーション名 <input type="text" value="quicktime"/> <input type="button" value="表示の更新"/> <small>"表示の更新"をクリックすると選択したアプリケーションの設定が表示されます。</small>
設定	アプリケーション名 <input type="text" value="quicktime"/> <input checked="" type="checkbox"/> 有効にする
	送信パケット プロトコル <input type="text" value="TCP"/> ポート番号: 開始 <input type="text" value="554"/> 終了 <input type="text" value="554"/>
	受信パケット プロトコル <input type="text" value="UDP"/> ポート番号: 開始 <input type="text" value="6970"/> 終了 <input type="text" value="6999"/>
	<input type="button" value="クリア"/>
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="リスト表示"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

エントリーの追加

各入力項目に追加するアプリケーションのデータを入力し、「追加」ボタンをクリックしてください。

エントリーの編集

設定を変更したいエントリーを選択して、「表示の更新」ボタンをクリックしてください。選択したエントリーのデータが表示されるので設定を変更し、「更新」ボタンをクリックしてください。

エントリーの削除

削除するエントリーを選択して、「削除」ボタンをクリックしてください。

エントリーの一覧表示

「リスト表示」ボタンをクリックしてください。登録済みのエントリーの一覧が表示されます。

各入力項目の詳細

「アプリケーション名」

アプリケーションの名前を入力してください。実際のアプリケーション名である必要はありません。任意の名前でもかまいません。アプリケーション名は半角英数字で10文字以内で入力してください。

「有効にする」

ここをチェックするとアプリケーションが有効になります。

「送信パケット」

・プロトコル

アプリケーションから送信するパケットが使用するプロトコルをTCPまたはUDPから選択してください。

・ポート番号：開始

アプリケーションから送信するパケットが使用するポート番号範囲の開始ポート番号を入力してください。アプリケーションが1つのポート番号しか使用しない場合は「開始」と「終了」の両方に同じポート番号を入力してください。

・ポート番号：終了

アプリケーションから送信するパケットが使用するポート番号範囲の終了ポート番号を入力してください。

「受信パケット」

・プロトコル

アプリケーションが受信するパケットが使用するプロトコルをTCPまたはUDPから選択してください。

- ・ポート番号：開始

アプリケーションが受信するパケットが使用するポート番号範囲の開始ポート番号を入力してください。アプリケーションが1つのポート番号しか使用しない場合は「開始」と「終了」の両方に同じポート番号を入力してください。


- ・ポート番号：終了

アプリケーションが受信するパケットが使用するポート番号範囲の終了ポート番号を入力してください。

設定が終わったら、「インターネットアプリケーション」メニューの動作設定で「特定アプリケーション」を有効にして「保存」ボタンをクリックしてください。

8. ローカルサーバ機能

ローカルサーバ機能とはLAN側のローカルネットワーク上に接続したサーバに対してインターネット(WAN)側からアクセスできるようにする機能です。設定したローカルサーバへインターネットからアクセスするには、本製品のWAN側ポートのIPアドレスに対してアクセスしてください。ローカルサーバの設定は「インターネットアプリケーション」メニューの「ローカルサーバ」で行います。

ローカルサーバ 			
WAN IPアドレス	WAN IPアドレス 192.168.100.235 インターネットからローカルサーバを参照するにはこのアドレスにアクセスしてください。		
ローカルサーバ	サーバの種類	有効にする	LAN IPアドレス
	DNS	<input type="checkbox"/>	0 0 0 0
	Finger	<input type="checkbox"/>	0 0 0 0
	FTP	<input checked="" type="checkbox"/>	192 168 1 101
	Gopher	<input type="checkbox"/>	0 0 0 0
	Mail (SMTP)	<input type="checkbox"/>	0 0 0 0
	Mail (POP3)	<input type="checkbox"/>	0 0 0 0
	News	<input type="checkbox"/>	0 0 0 0
	Telnet	<input type="checkbox"/>	0 0 0 0
	Web	<input checked="" type="checkbox"/>	192 168 1 100
Whois	<input type="checkbox"/>	0 0 0 0	
			保存 キャンセル

「サーバの種類」

ローカルサーバ機能ではあらかじめ用意してある、以下の種類のサーバを公開することが可能です。ここにある以外のサーバを公開したい場合は「ユーザ設定ローカルサーバ」機能を使用してください。

サーバの種類 : DNS、Finger、FTP、Gopher、Mail (SMTP)、Mail (POP3)、News、Telnet、Web、Whois

「有効にする」

公開したいサーバを選択してください。

「LAN IPアドレス」

サーバとして公開するLAN側ローカルネットワーク上のコンピュータのIPアドレスを入力してください。ローカルサーバに設定するコンピュータでは、サーバアプリケーションが正常にインストールされ、動作している必要があります。ローカルサーバに設定するコンピュータは固定IPアドレスを使用するか、「フィルタ設定」メニューの「コンピュータ」でIPアドレスを予約して、常に固定のIPアドレスが使用されるように設定することを推奨します。

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックしてください。その後、「インターネットアプリケーション」メニューの動作設定で「ローカルサーバ」を有効にして「保存」ボタンをクリックしてください。

例：WEBサーバを公開する場合

ローカルネットワーク上のコンピュータ(IPアドレス：192.168.1.100)をWEBサーバとして公開する場合は、サーバの種類「Web」の「有効にする」をチェックし「LAN IPアドレス」にIPアドレス(192.168.1.100)を入力してください。設定したWEBサーバにインターネットからアクセスするには、WEBブラウザのアドレス(URL)入力欄に本製品のWAN側ポートのIPアドレスを入力してください。

9. ユーザ設定ローカルサーバ

ローカルサーバ機能で用意されていない種類のサーバを公開したい場合は、ユーザ設定ローカルサーバ機能を使用してください。ユーザ設定ローカルサーバを設定するには、あらかじめサーバが使用するプロトコル(TCPまたはUDP)とポート番号の情報を用意しておいてください。ローカルサーバ機能の詳細は、第6章「7. ローカルサーバ機能」を参照してください。ユーザ設定ローカルサーバは10個まで登録可能です。ユーザ設定ローカルサーバの設定は「インターネットアプリケーション」メニューの「ユーザ設定ローカルサーバ」で行います。

ユーザ設定ローカルサーバ	
WAN IPアドレス	WAN IPアドレス 192.168.100.235 インターネットからローカルサーバを参照するにはこのアドレスにアクセスしてください。
サーバの選択	サーバ名 <input type="text"/> 表示の更新 "表示の更新"をクリックすると選択したサーバの設定が表示されます。
設定	サーバ名 <input type="text" value="https"/> <input checked="" type="checkbox"/> 有効にする
	IPアドレス <input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="102"/>
	プロトコル <input type="text" value="TCP"/>
	内部ポート番号 <input type="text" value="443"/>
	外部ポート番号 <input type="text"/> (省略可)
<input type="button" value="クリア"/>	
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="リスト表示"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

エントリの追加

各入力項目に追加するユーザ設定ローカルサーバのデータを入力し、「追加」ボタンをクリックしてください。

エントリの編集

設定を変更したいエントリーを選択して、「表示の更新」ボタンをクリックしてください。選択したエントリーのデータが表示されるので設定を変更し、「更新」ボタンをクリックしてください。

エントリの削除

削除するエントリーを選択して、「削除」ボタンをクリックしてください。

エントリの一覧表示

「リスト表示」ボタンをクリックしてください。登録済みのエントリの一覧が表示されます。

各入力項目の詳細

「サーバ名」

追加するユーザ設定ローカルサーバのサーバ名を入力してください。任意の名前でかまいません。サーバ名は半角英数字で10文字以内で入力してください。

「有効にする」

ここをチェックするとローカルサーバが有効になります。

「IPアドレス」

サーバとして公開するLAN側ローカルネットワーク上のコンピュータのIPアドレスを入力してください。ローカルサーバに設定するコンピュータでは、サーバアプリケーションが正常にインストールされ、動作している必要があります。ローカルサーバに設定するコンピュータは固定IPアドレスを使用するか、「フィルタ設定」メニューの「コンピュータ」でIPアドレスを予約して、常に固定のIPアドレスが使用されるように設定することを推奨します。

「プロトコル」

サーバで使用するプロトコルをTCPまたはUDPから選択してください。

「内部ポート番号」

ローカルサーバ上で使用するポート番号を入力してください。


「外部ポート番号」

通常は内部ポート番号と同じポート番号を入力してください。クライアント側でサーバと別のポート番号を使用する場合は、そのポート番号を入力してください。

設定が終了したら、「インターネットアプリケーション」メニューの動作設定で「ローカルサーバ」を有効にして「保存」ボタンをクリックしてください。

10. バーチャルコンピュータ機能 (DMZ)

バーチャルコンピュータ機能とは、プライベートLAN上の1台のコンピュータをインターネット上からアクセス可能にする機能で、DMZ (DeMilitarized Zone) とよばれることもあります。バーチャルコンピュータを設定すると、インターネットから、本製品のWAN側ポートのIPアドレスへ送られてくる不明なパケットはすべてバーチャルコンピュータに転送されるようになります。特定アプリケーションやローカルサーバ機能でアプリケーションやサーバが正常に動作しなかった場合はバーチャルコンピュータ機能を試してみてください。設定したバーチャルコンピュータへインターネットからアクセスするには、本製品のWAN側ポートのIPアドレスに対してアクセスしてください。バーチャルコンピュータの設定を行うには、「インターネットアプリケーション」メニューから「バーチャルコンピュータ(DMZ)」をクリックしてください。

バーチャルコンピュータ 	
設定	<input checked="" type="checkbox"/> バーチャルコンピュータを有効にする
LAN IPアドレス	バーチャルコンピュータに設定するコンピュータのIPアドレスを入力してください。 LAN IPアドレス <input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="10"/>
WAN IPアドレス	WAN IPアドレス 192.168.100.235 インターネットからバーチャルコンピュータを参照するには、このアドレスにアクセスしてください。
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

注意 バーチャルコンピュータ機能を有効にすると、バーチャルコンピュータに設定したコンピュータに対しては一切のセキュリティが働かなくなります。バーチャルコンピュータ機能は、必要時以外は無効にしておくことを推奨します。

「バーチャルコンピュータを有効にする」

ここをチェックすると、バーチャルコンピュータ機能が使用可能となります。チェックしていない場合、バーチャルコンピュータ機能は使用できません。

「LAN IPアドレス」


バーチャルコンピュータに設定するLAN側ローカルネットワーク上のコンピュータのIPアドレスを入力してください。バーチャルコンピュータに設定するコンピュータは固定IPアドレスを使用するか、「フィルタ設定」メニューの「コンピュータ」でIPアドレスを予約して、常に固定のIPアドレスが使用されるように設定することを推奨します。

設定を変更した場合は「保存」ボタンをクリックしてください。その後、「インターネットアプリケーション」メニューの動作設定で「バーチャルコンピュータ」を有効にして「保存」ボタンをクリックしてください。

11. フィルタ設定

本製品のフィルタ機能では、LAN側ローカルネットワーク上のユーザのWEBの参照やE-mailの使用など特定のインターネットサービスの使用制限を行うことが可能です。本製品のフィルタ設定はグループごとに行います。また、独自のフィルタを追加することも可能です。

デフォルトでは、フィルタ機能は無効に設定されています。フィルタ機能の設定を行うには、メニューから「フィルタ設定」をクリックしてください。

フィルタ設定 	
<u>セキュリティグループ</u>	アクセス制限の設定を行います。設定は各セキュリティグループごとに行います。
<u>コンピュータの設定</u>	セキュリティグループへのコンピュータの追加を行います。登録していないコンピュータは自動的に「Everyone」グループに参加することになります。
<u>ユーザフィルタ設定</u>	フィルタの追加設定を行います。

コンピュータのグループへの登録

本製品のフィルタ機能ではグループごとにフィルタの設定を行います。このためフィルタ機能を使用するには、まずコンピュータをグループに登録する必要があります。グループには"Everyone"、"Group 1"、"Group 2"、"Group 3"、"Group 4"の5つがあります。設定を行っていないコンピュータはすべて"Everyone"グループに参加することになります。

コンピュータのグループへの登録は、「フィルタ設定」メニューの「コンピュータの設定」で行います。コンピュータは50台まで登録可能です。

「コンピュータ名」

固定IPアドレスを割り当てるコンピュータの任意のコンピュータ名を入力してください。コンピュータ名は半角英数字で10文字以内で入力してください。

「MACアドレス」

固定IPアドレスを割り当てるコンピュータのMACアドレスを入力してください。MACアドレスは16進数で12桁続けて入力してください。コンピュータのMACアドレスの確認方法はコンピュータまたは、ネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。Windows95/98/Meであれば、winipcfg ユーティリティで確認できます。

「IPアドレス」

コンピュータに割り当てるIPアドレスを入力してください。DHCPサーバの割り当て範囲内のアドレスを入力してください。

「セキュリティグループ」

このコンピュータが参加するセキュリティグループを選択してください。グループに所属する必要が無ければ「Everyone」を選択してください。

設定が終わったら「追加」ボタンをクリックしてください。

登録済みのコンピュータの設定を変更したい場合は、コンピュータを選択して「表示の更新」ボタンをクリックしてから、設定を変更し「更新」ボタンをクリックしてください。

グループごとのフィルタの設定

各グループごとのフィルタの設定は「フィルタ設定」メニューの「セキュリティグループ」で行います。

セキュリティグループ																								
グループ	グループを選択 Group 1 <input type="button" value="表示の更新"/> "表示の更新"をクリックすると選択したグループの設定内容が表示されます。																							
アクセス制限	グループのインターネットへのアクセス制限 <input type="radio"/> 制限なし <input type="radio"/> すべてのアクセスを拒否 <input checked="" type="radio"/> パケットフィルタテーブルを使用																							
パケット フィルタ テーブル	アクセスを拒否するアイテムを選択してください。																							
	<table border="1"><thead><tr><th>アプリケーション</th><th>TCPパケット</th></tr></thead><tbody><tr><td><input checked="" type="checkbox"/> Archie</td><td><input type="button" value="アイテムを選択してください"/> 追加は"ユーザフィルタ設定"で行ってください</td></tr><tr><td><input checked="" type="checkbox"/> DNS</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> E-Mail</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> FTP</td><td></td></tr><tr><td><input checked="" type="checkbox"/> Gopher</td><td></td></tr><tr><td><input checked="" type="checkbox"/> News</td><td></td></tr><tr><td><input checked="" type="checkbox"/> SNMP</td><td></td></tr><tr><td><input checked="" type="checkbox"/> Telnet</td><td></td></tr><tr><td><input checked="" type="checkbox"/> TFTP</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> WWW</td><td></td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>UDPパケット</th></tr></thead><tbody><tr><td><input type="button" value="アイテムを選択してください"/> 追加は"ユーザフィルタ設定"で行ってください</td></tr></tbody></table>	アプリケーション	TCPパケット	<input checked="" type="checkbox"/> Archie	<input type="button" value="アイテムを選択してください"/> 追加は"ユーザフィルタ設定"で行ってください	<input checked="" type="checkbox"/> DNS		<input type="checkbox"/> E-Mail		<input type="checkbox"/> FTP		<input checked="" type="checkbox"/> Gopher		<input checked="" type="checkbox"/> News		<input checked="" type="checkbox"/> SNMP		<input checked="" type="checkbox"/> Telnet		<input checked="" type="checkbox"/> TFTP		<input type="checkbox"/> WWW		UDPパケット
アプリケーション	TCPパケット																							
<input checked="" type="checkbox"/> Archie	<input type="button" value="アイテムを選択してください"/> 追加は"ユーザフィルタ設定"で行ってください																							
<input checked="" type="checkbox"/> DNS																								
<input type="checkbox"/> E-Mail																								
<input type="checkbox"/> FTP																								
<input checked="" type="checkbox"/> Gopher																								
<input checked="" type="checkbox"/> News																								
<input checked="" type="checkbox"/> SNMP																								
<input checked="" type="checkbox"/> Telnet																								
<input checked="" type="checkbox"/> TFTP																								
<input type="checkbox"/> WWW																								
UDPパケット																								
<input type="button" value="アイテムを選択してください"/> 追加は"ユーザフィルタ設定"で行ってください																								
<input type="button" value="クリア"/>																								
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>																								

「グループを選択」

設定を行うグループを選択して、「表示の更新」ボタンをクリックしてください。

「アクセス制限」

グループに対するアクセス制限を設定します。

- ・制限なし

アクセス制限を行いません。

- ・すべてのアクセスを制限

すべてのアクセスを禁止します。

- ・パケットフィルタテーブルを使用

下記のパケットフィルタテーブルの設定にしたがってアクセス制限を行います。

「パケットフィルタテーブル」

アクセスを禁止したいサービスを「アプリケーション」、「TCPパケット」、「UDPパケット」から選択してください。「TCPパケット」、「UDPパケット」へのアイテムの追加は次節で説明する「ユーザフィルタ設定」で行います。

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックしてください。

ユーザフィルタの設定

パケットフィルタテーブルにあらかじめ用意されている以外のサービスを禁止したい場合はユーザフィルタの設定を行ってください。ユーザフィルタの設定は「フィルタ設定」メニューの「ユーザフィルタ設定」で行います。

ユーザフィルタ設定						
TCPフィルタ	フィルタ名	ポート番号	フィルタ名	ポート番号		
	1	chat	6667	6		0
	2	finger	79	7		0
	3	raudio	7070	8		0
	4		0	9		0
	5		0	10		0
UDPフィルタ	フィルタ名	ポート番号	フィルタ名	ポート番号		
	1		0	6		0
	2		0	7		0
	3		0	8		0
	4		0	9		0
	5		0	10		0

保存 キャンセル

ユーザフィルタの設定は、パケットのプロトコルの種類によってTCPフィルタとUDPフィルタに分かれます。該当するプロトコルに「パケット名」と「ポート番号」を入力してください。パケット名は任意の名前で半角英数字6文字以内で入力してください。

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックしてください。

12. ルーティングテーブル

本製品では、ルーティングテーブルにスタティックルーティング情報を20個まで追加することが可能です。

注意 新規にルーティング情報を追加するには、TCP/IPについてのより高度な知識が必要です。間違ったルーティング情報を追加すると、IPネットワーク全体の通信が止まってしまう恐れもあります。ルーティング情報の追加を行う前に、ネットワーク管理者と相談し、追加するルーティング情報に問題が無いかよく確認してください。

スタティックルーティング情報の追加を行うには、LANポート設定画面から「ルーティング設定」をクリックしてください。

ルーティング設定	
ルーティングテーブル	エントリーを選択 <input type="button" value="表示を更新"/>
設定	送信先アドレス: 192 168 0 1
	ネットマスク: 255 255 255 0
	ゲートウェイアドレス: 192 168 1 100
	インターフェース: LAN
	メトリック: 1
	<input type="button" value="クリア"/>
追加 削除 更新 ルーティングテーブルの表示 キャンセル	

エントリーの追加

各入力項目に追加するスタティックルーティングエントリーのデータを入力し、「追加」ボタンをクリックしてください。

エントリーの編集

設定を変更したいエントリーを選択して、「表示の更新」ボタンをクリックしてください。選択したエントリーのデータが表示され

るので設定を変更し、「更新」ボタンをクリックしてください。

エントリの削除

削除するエントリを選択して、「削除」ボタンをクリックしてください。

エントリの一覧表示

「リスト表示」ボタンをクリックしてください。登録済みのエントリの一覧が表示されます。

各入力項目の詳細

「送信先アドレス」

送信先ネットワークのネットワークアドレスを入力してください。

「ネットマスク」

送信先ネットワークのネットマスクを入力してください。送信先がクラスCネットワークであればネットマスクは"255.255.255.0"になります。

「ゲートウェイ」

送信先ネットワークへのゲートウェイアドレスを入力してください。

「インターフェース」

インターフェースを"LAN"または"WAN"から選択してください。

「メトリック」

送信先ネットワークまでのホップ数(通過するルータの数)を入力してください。デフォルト値は"1"です。

13. ステータス表示

LAN側ポートのステータス表示

LAN側ポートのステータス表示を行うには、メニューから「LANステータス」を選択してください。

LANステータス 			
デバイス	ファームウェアバージョン	Version 1.0 Release 08	
	ハードウェアID	00ea005c9732	
	NAT機能	Enable	
LANポート	MACアドレス	00-90-cc-13-67-24	
	IPアドレス	192.168.1.1	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	DHCPサーバ	Enable	
DHCP割り当て	IPアドレス	MACアドレス	ステータス
	192.168.1.2	00-90-cc-4f-36-4c	leased
	192.168.1.30	00-90-cc-ba-2c-d6	reserved
<input type="button" value="表示の更新"/>			

「ファームウェアバージョン」

ファームウェアのバージョンを表示します。

「ハードウェアID」

ハードウェアIDを表示します。MACアドレスではありませんので注意してください。

「NAT」

NAT機能の状態(有効または無効)を表示します。

「MACアドレス」

LAN側ポートのMACアドレス(ハードウェアアドレス)を表示します。WAN側ポートのMACアドレスとは異なります。

「IPアドレス」

LAN側ポートのIPアドレスを表示します。

「サブネットマスク」

LAN側ネットワークのサブネットマスクを表示します。

「DHCPサーバ」

DHCPサーバ機能の状態(有効または無効)を表示します。

「DHCP割り当て」

DHCPサーバのIPアドレスの割り当て状況と予約状況が表示されます。DHCPサーバ機能が無効になっている場合はこのテーブルには何も表示されません。

- ・ IPアドレス

DHCPクライアントに割り当てた、もしくは予約されているIPアドレスです。

- ・ MACアドレス

DHCPクライアントのMACアドレスです。

- ・ ステータス

ステータスが"leased"(貸し出し中)または"reserved"(予約済み)と表示されます。

「表示の更新」ボタン

画面表示内容を更新します。

WAN側ポートのステータス表示

WAN側ポートのステータス表示は、WAN側ポートの設定が「通常の接続」か「PPPoE接続」かで異なります。WAN側ポートのステータス表示を行うには、メニューから「WANステータス」を選択してください。

< 通常の接続の場合 >

WANステータス 通常の接続 		
WANポート	MACアドレス	00-90-cc-13-67-25
	IPアドレス	192.168.100.235
	サブネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイ	192.168.100.1
	DHCPクライアント	Enable
		<input type="button" value="再接続"/> <input type="button" value="表示の更新"/>

「MACアドレス」

WAN側ポートのMACアドレス(ハードウェアアドレス)を表示します。LAN側ポートのMACアドレスとは異なります。

「IPアドレス」

WAN側ポートのIPアドレスを表示します。

「サブネットマスク」

WAN側ネットワークのサブネットマスクを表示します。

「ゲートウェイ」

WAN側ネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを表示します。

「DHCPクライアント」

WAN側ポートのDHCPクライアント機能のステータス(有効または無効)を表示します。

「再接続」ボタン

接続が切断された場合は、このボタンをクリックして再接続を行ってください。

「表示の更新」ボタン

画面表示内容を更新します。

< PPPoE接続の場合 >

The screenshot shows a window titled "WANステータス PPPoE接続" (WAN Status PPPoE Connection). It is divided into two main sections: "WANステータス" (WAN Status) and "接続ログ" (Connection Log). The "WANステータス" section lists the following information:

MACアドレス	00-90-cc-13-67-25
IPアドレス	192.168.100.235
サブネットマスク	255.255.255.0
PPPoE接続ステータス	ON

The "接続ログ" (Connection Log) section displays a scrollable list of system messages:

```
018:ppp up successfully
017:IPCP up, set MTU:1492
016:start PPP
015:physical line is connected
014:PADS received, id:1
013:Receive 0:90:CC:0:E1:7D
0:0:2:11:30:A PPPoE DISC: 1 1
```

At the bottom of the window, there are three buttons: "接続" (Connect), "切断" (Disconnect), and "表示の更新" (Refresh Display). A "ログのクリア" (Clear Log) button is also present near the log window.

「MACアドレス」

WAN側ポートのMACアドレス(ハードウェアアドレス)を表示します。LAN側ポートのMACアドレスとは異なります。

「IPアドレス」

このデバイスのWAN側ポートのIPアドレスを表示します。PPPoEが接続されていない場合は"0.0.0.0"が表示されます。

「サブネットマスク」

WAN側ネットワークのサブネットマスクを表示します。PPPoEが接続されていない場合は"0.0.0.0"が表示されます。

「PPPoE接続ステータス」

現在のPPPoEの接続状況を表示します。

「接続ログ」

PPPoEの接続/切断のログを表示します。

「接続」ボタン

PPPoEの接続を行います。PPPoE接続の設定で自動接続を無効に設定してある場合に、PPPoEの接続を行うには、このボタンをクリックしてください。

「切断」ボタン

PPPoEの切断を行います。

「ログのクリア」ボタン

PPPoEの接続ログを消去します。

「表示の更新」ボタン

画面表示内容を更新します。


PPPoEの接続ログに表示される主なメッセージとその意味を以下に説明します。

メッセージ	意味
Dial on Demand	自動接続機能により接続処理が開始されました。
Manual connection	「接続」ボタンにより接続処理が開始されました。
Reset physical connection	接続のための準備を開始しました。
Connecting to remote server	プロバイダ側のサーバに接続を開始しました。
Remote Server located	プロバイダ側のサーバから応答がありました。
Start PPP	プロバイダ側のサーバとPPP接続を開始しました。
PPP up successfully	PPP接続が確立しました。
Idle time-out reached	無通信状態が無通信時の自動切断に設定した時間に達しました。切断処理を開始します。
Disconnecting	接続を切断しました。
Error : Remote Server not found	プロバイダ側のサーバが応答しません。プロバイダ側のサーバかもしくはケーブルの接続に問題があります。
Error : PPP Connection failed	PPP接続の確立に失敗しました。ユーザ名/パスワードに問題があるか、サーバの問題です。
Error : Connection to Server lost	接続が切断されました。電源、ケーブルもしくはサーバの問題等の原因により接続が切断されました。
Error : Invalid or unknown packet type	受信したパケットは壊れているか、もしくはサポートしていないプロトコルです。

表6-1 PPPoE接続ログのメッセージ

14. NAT機能の設定

メニューの「システム設定」で、NAT(ネットワークアドレス変換)機能の有効/無効の設定を行うことが可能です。

システム設定		
パスワード	設定画面へログインするためのパスワードを設定します。	
	新しいパスワード	<input type="password" value="*****"/>
	新しいパスワードの確認	<input type="password" value="*****"/>
NAT	インターネットアクセスを共有するためにはNATを有効にする必要があります。 <input checked="" type="radio"/> NATを有効にする <input type="radio"/> NATを無効にする	
TFTP	通常ファームウェアのアップデートはWindowsユーティリティから行います。TFTP(Trivial FTP)からアップデートを行う場合は以下を有効にしてください。 <input type="checkbox"/> ファームウェアのアップデートのためにTFTPを有効にする	
インターネットからの設定	インターネットからの設定画面へのログインを可能にします。 <input type="checkbox"/> インターネットからの設定を許可する	
	ポート番号	<input type="text" value="80"/>
	WANポートのIPアドレス	192.168.100.235
		<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

「NATを有効にする」


NAT機能が有効になります。インターネットアクセスを共有する場合は、NAT機能を有効に設定してください。

「NATを無効にする」

NAT機能を無効にします。NAT機能を無効にした場合、本製品はローカルルータとして動作します。

15. その他の設定

メニューの「システム設定」で、TFTPの設定を行うことが可能です。

システム設定 	
パスワード	設定画面へログインするためのパスワードを設定します。 新しいパスワード <input type="password" value="*****"/> 新しいパスワードの確認 <input type="password" value="*****"/>
	NAT <input checked="" type="radio"/> NATを有効にする <input type="radio"/> NATを無効にする
TFTP	通常ファームウェアのアップデートはWindowsユーティリティから行います。TFTP(Trivial FTP)からアップデートを行う場合は以下を有効にしてください。 <input type="checkbox"/> ファームウェアのアップデートのためにTFTPを有効にする
インターネットからの設定	インターネットからの設定画面へのログインを可能にします。 <input type="checkbox"/> インターネットからの設定を許可する
	ポート番号 <input type="text" value="80"/> WANポートのIPアドレス 192.168.100.235
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

本製品はTFTPでも、ファームウェアのアップデートを行うことが可能です。しかし、通常ファームウェアのアップデートはWindows用のユーティリティから行いますので、これを有効にする必要はありません。

付録A. トラブルシューティング

- Power LEDが点灯しない

本製品付属のACアダプタを使用していますか？

ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？

ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

- WAN LEDが点灯しない

ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWAN側ポートおよびxDSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？

xDSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？

ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか？

- LAN LEDが点灯しない

ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLAN側ポートおよびハブ(コンピュータ)のRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？

ハブ(コンピュータ)の電源は入っていますか？

ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか？

- ・WEB設定画面が表示されない

コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作していますか？コンピュータまたはネットワークアダプタのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認してください。

コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPを自動取得(DHCPを使用)する設定にしてください。

使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示(ツール)」「インターネットオプション」「接続」、Netscapeでは「編集」「設定」「詳細」にプロキシの設定項目があります。

- ・インターネットにアクセスできない

WAN側のIP設定が間違っている可能性があります。プロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、第6章「5.WANポートの設定」をやり直してください。

IPフィルタが設定されていませんか？IPフィルタの設定を確認してください。

- ・LAN側ポートのIPアドレスを忘れてしまった

本製品のLAN側ポートのIPアドレスを忘れてしまい、設定画面にログインできなくなってしまった場合は、第1章「7.設定の初期化」を参照して、IPアドレスを工場出荷時の状態に戻してください。

- ・パスワードを忘れてしまった

本製品の管理者パスワードを忘れてしまい、設定画面にログインできなくなってしまった場合は、第1章「7.設定の初期化」を参照して、パスワードを工場出荷時の状態に戻してください。

- ・MACアドレスがわからない

本製品のMACアドレスは本体底面のシールに印刷されています。
Node ID： の後の12桁の文字列が本製品のMACアドレスです。
MACアドレスはLAN側ポートとWAN側ポートで異なりますので注意してください。プロバイダへMACアドレスの申請が必要な場合はWAN側ポートのMACアドレスを申請してください。

付録B. デフォルト設定

本製品の工場出荷時のデフォルト設定は以下のようになっています。設定の初期化を行った後も以下の設定に戻ります。

項目		設定内容
LAN側	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
WAN側	接続方法	通常の接続
	DHCPクライアント	有効
	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	0.0.0.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
DHCPサーバ	DHCPサーバ	有効
	IP割り当て範囲	192.168.1.2~128
	DNSアドレス (1)	0.0.0.0
	DNSアドレス (2)	0.0.0.0
	DNSアドレス (3)	0.0.0.0
パスワード	password	
ドメイン名	未設定	
ホスト名	本製品裏面のサーバ名	
NAT	有効	
ローカルサーバ	なし	
バーチャルコンピュータ	なし	
スタティックルーティング	なし	
フィルタ設定	なし	
インターネットからの設定	無効	

付録C. PPPoE接続について

本製品をNTT東日本/NTT西日本が回線提供する「フレッツ・ADSL」サービスや、東京めたりっく通信の「Single」サービスなどの、PPPoE接続を利用した高速インターネットサービスで使用する場合は、以下の内容を参照してください。

PPPoEとは

PPPoE(Point to Point Protocol over Ethernet)とは、ダイヤルアップ接続で一般的に用いられているPPP(Point to Point Protocol)接続をEthernet上で実現する方式です。通常、インターネット常時接続ではネットワーク設定に関する技術的な知識を必要としますが、PPPoE接続では、基本的にユーザー名とパスワードの設定だけで簡単にインターネットに接続できます。

・PPPoE接続ソフトウェアを使った接続/切断

PPPoEでは、ダイヤルアップ接続で利用されてきたPPPと同様に、イーサネット上でユーザIDとパスワードを使って契約プロバイダへの接続/ユーザ認証を行います。ただし、ダイヤルアップ接続でのPPPと違い、コンピュータにPPPoE接続のための専用のソフトウェア(NTTや各プロバイダから提供予定)をインストールする必要があります。

・接続台数

通常、1つの契約(1セッション)には1個のIPアドレスしか割り当てられないため、1台のコンピュータしかインターネットに接続できません。

PPPoEクライアント機能について

- ・PPPoE接続ソフト不要

本製品自身がPPPoEクライアントとしてプロバイダとのPPPoEセッションを確立します。コンピュータにPPPoE接続ソフトウェアをインストールする必要はありません。

- ・自動接続

コンピュータからインターネットへの接続要求が発生した場合に、本製品が自動的にプロバイダに接続します。

- ・無通信時の自動切断

設定した時間(分単位)内にインターネット側との通信がなかった場合、自動的に接続を切断します。

- ・複数のコンピュータから同時にインターネット接続

NAT/IPマスカレード機能により、1台分の契約で、複数のコンピュータから同時にインターネット接続が可能です。

動作確認済みサービス

以下のPPPoE接続採用インターネットサービスで、本製品の正常動作を確認しております。

NTT東日本/NTT西日本	フレッツ・ADSL
東京めたりっく通信	Single

フレッツ・ADSLは、NTT東日本(東日本電信電話株式会社)およびNTT西日本(西日本電信電話株式会社)が回線を提供するサービスです。実際のインターネット契約・サービス提供は、お客様と各プロバイダとの間で結ばれますのでご注意ください。

プロバイダから配布されるPPPoE接続ソフトウェアについて本製品のPPPoE接続の設定後はコンピュータにPPPoE接続ソフトをインストールする必要はありません。インストールしてある場合は、アンインストールするか、そのソフトの自動接続機能を無効にしてください。

注意 NTTの「フレッツ・ADSL」サービス、東京めたりっく通信の「Single」サービスにおける、本製品の動作に関しては、弊社が保証およびサポートを行います。NTT東日本、NTT西日本、東京めたりっく通信や各プロバイダへの本製品に関するお問い合わせはご遠慮ください。

付録D. 製品仕様

< 準拠する標準 >

LAN側 IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX

WAN側 IEEE802.3 10BASE-T

< 伝送速度 >

LAN側 10/100Mbps (オートネゴシエーション)

WAN側 10Mbps

< ポート >

LAN側 10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 × 7ポート

WAN側 10BASE-T RJ-45 × 1ポート

< ネットワークケーブル >

10BASE-T カテゴリ3以上 ツイストペアケーブル (100m)

100BASE-TX カテゴリ5以上 ツイストペアケーブル (100m)

< LED >

Power、Status、WAN Link、WAN Act、LAN Link/Act、LAN FDX、Printer Error、Printer Act

< 入力電源 >

DC 9V、1,500mA

< 消費電力 >

最大5.4W

< 外形寸法 (W×D×H) >

250 × 180 × 40mm

< 重量 (本体のみ) >

1315g

< 環境 >

動作温度 0 ~ 40

動作湿度 35 ~ 85%

< EMI >

VCCI Class B、FCC Class B、CE